

2. 地域や社会の状況についての実感

「地域や社会の状況についての実感」は、平成24年度に策定した「みえ県民力ビジョン」で政策分野ごとに設定した16の「幸福実感指標」に対応した質問となっています。

「幸福実感指標」は、県民の皆さん一人ひとりが生活している中で感じる政策分野ごとの実感の推移を調べ、全体としての幸福実感を把握するための指標です。

なお、「幸福実感指標」とそれに関連する県の政策分野は以下のとおりです。

問2	幸福実感指標	関連する政策分野
(1)	災害等の危機への備えが進んでいると感じる県民の割合	危機管理
(2)	必要な医療サービスが利用できていると感じる県民の割合	命を守る
(3)	犯罪や事故が少なく、安全に暮らせていると感じる県民の割合	暮らしを守る
(4)	必要な福祉サービスが利用できていると感じる県民の割合	共生の福祉社会
(5)	身近な自然や環境を守る取組が広がっていると感じる県民の割合	環境を守る持続可能な社会
(6)	一人ひとりが尊重され、誰もが社会に参画できていると感じる県民の割合	人権の尊重と多様性を認め合う社会
(7)	子どものためになる教育が行われていると感じる県民の割合	教育の充実
(8)	地域社会の見守りの中で、子どもが元気に育っていると感じる県民の割合	子どもの育ちと子育て
(9)	スポーツを通じて夢や感動が育まれていると感じる県民の割合	スポーツの推進
(10)	自分の住んでいる地域に愛着があり、今後も住み続けたいと感じる県民の割合	地域との連携
(11)	文化芸術や地域の歴史等について、学び親しむことができると感じる県民の割合	文化と学び
(12)	三重県産の農林水産物を買いたいと感じる県民の割合	農林水産業
(13)	県内の産業活動が活発であると感じる県民の割合	強じんて多様な産業
(14)	働きたい人が仕事に就き、必要な収入を得ていると感じる県民の割合	雇用の確保
(15)	国内外に三重県の魅力が発信され、交流が進んでいると感じる県民の割合	世界に開かれた三重
(16)	道路や公共交通機関等が整っていると感じる県民の割合	安心と活力を生み出す基盤

問2 次の(1)から(16)までの16の質問それぞれについて、あなたの実感にもっとも近いものを1つだけ選んでください。(○はそれぞれ1つずつ)

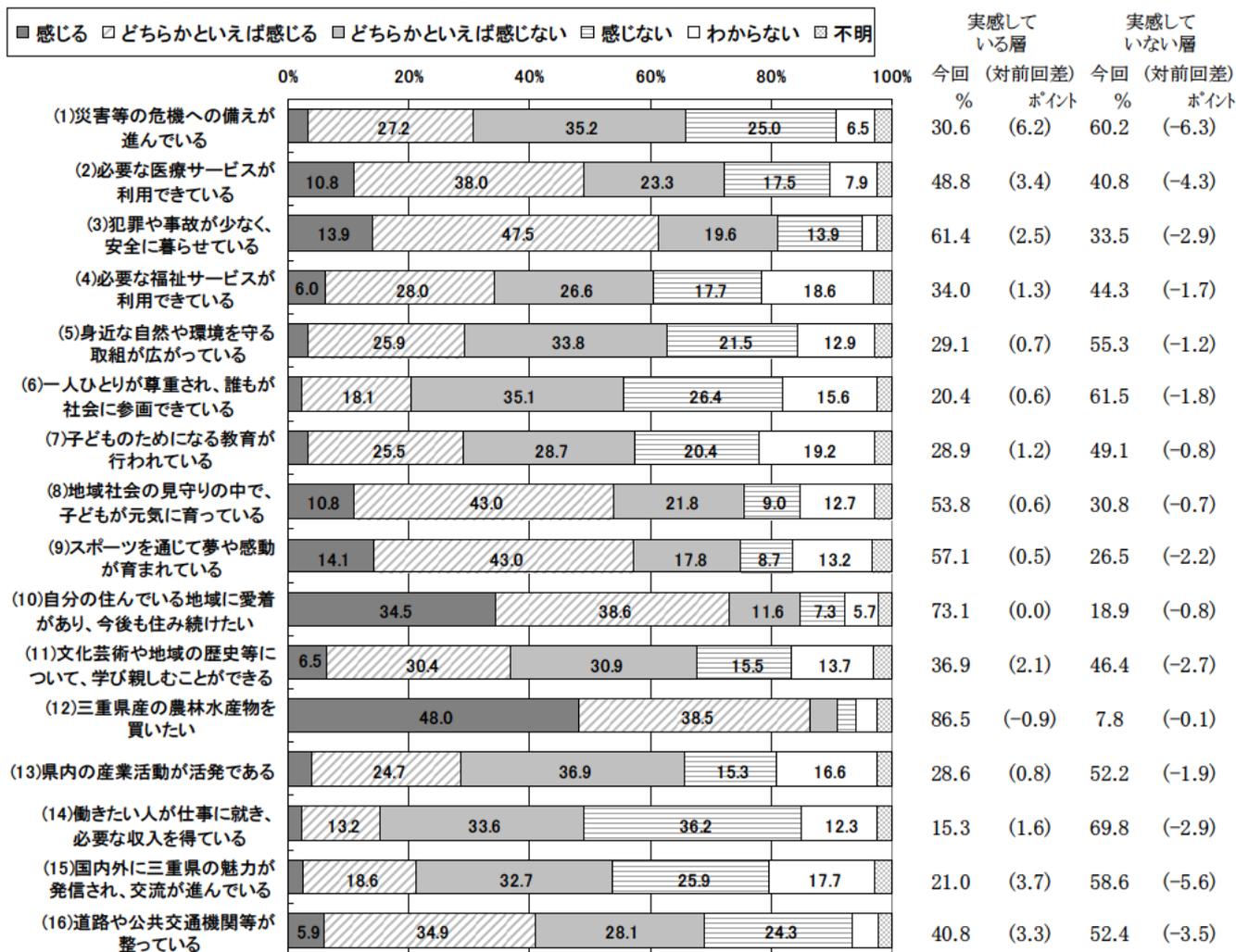
地域や社会の状況についての実感を聞いたところ、「実感している層」の割合は、『(12)三重県産の農林水産物を買いたい』が86.5%と最も高く、そのうち「感じる」も48.0%と最も高くなっています。次いで、『(10)自分の住んでいる地域に愛着があり、今後も住み続けたい』(73.1%)、『(3)犯罪や事故が少なく、安全に暮らせている』(61.4%)となっています。

一方、「実感していない層」の割合は、『(14)働きたい人が仕事に就き、必要な収入を得ている』が69.8%と最も高く、そのうち「感じない」も36.2%と最も高くなっています。次いで、『(6)一人ひとりが尊重され、誰もが社会に参画できている』(61.5%)、『(1)災害等の危機への備えが進んでいる』(60.2%)となっています。

前回調査と比較すると、「実感している層」の割合は、『(12)三重県産の農林水産物を買いたい』を除いて、同率が高くなっています。前回調査との差で見ると、『(1)災害等の危機への備えが進んでいる』(+6.2ポイント)、『(15)国内外に三重県の魅力が発信され、交流が進んでいる』(+3.7ポイント)、『(2)必要な医療サービスが利用できている』(+3.4ポイント)の順に高くなっています。一方、「実感していない層」の割合は16項目すべてで低くなっています。

※「実感している層」の割合・・・「感じる」と「どちらかといえば感じる」の割合を小数点第2位で四捨五入した数値の合計
 ※「実感していない層」の割合・・・「感じない」と「どちらかといえば感じない」の割合を小数点第2位で四捨五入した数値の合計

図表 2-2-1 地域や社会の状況についての実感(項目別)



地域別では、「実感している層」の割合は、すべての地域で『(12)三重県産の農林水産物を買いたい』が最も高く、次いで『(10)自分の住んでいる地域に愛着があり、今後も住み続けたい』となっており、順位は異なるものの上位5項目は同じ項目となっています。

一方、「実感していない層」はすべての地域で『(14)働きたい人が仕事に就き、必要な収入を得ている』が最も高く、『(6)一人ひとりが尊重され、誰もが社会に参画できている』と『(15)国内外に三重県の魅力が発信され、交流が進んでいる』の2項目も上位5項目に含まれています。

前回調査との差でみると、東紀州地域の『(16)道路や公共交通機関等が整っている』が「実感している層」の割合が11.2ポイント高く、「実感していない層」の割合が11.5ポイント低くなっています。また、伊勢志摩地域の『(15)国内外に三重県の魅力が発信され、交流が進んでいる』は、「実感していない層」の割合が10.7ポイント低くなっています。

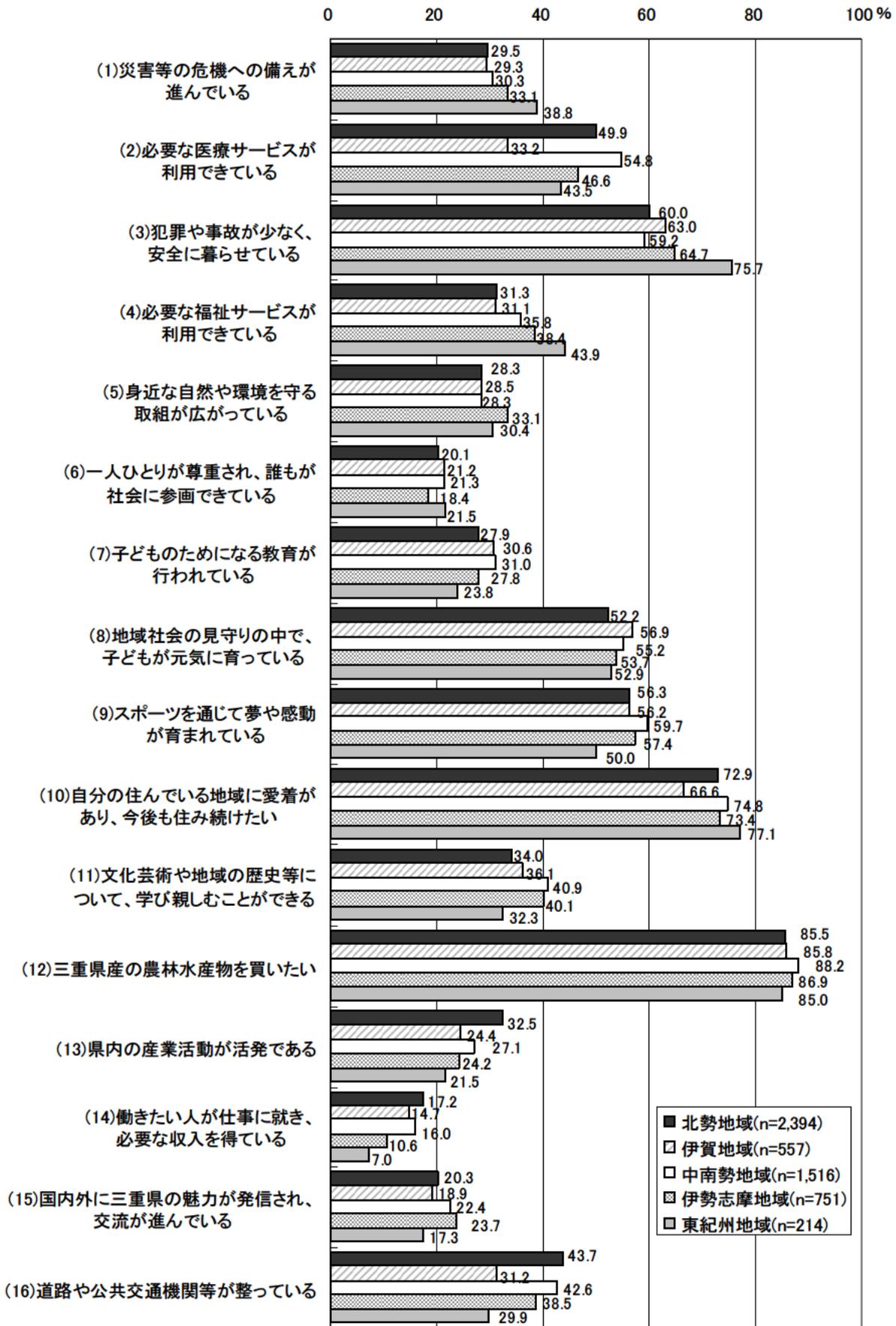
図表2-2-2 地域や社会の状況について「実感している層」の割合(地域別上位5項目) (%)

地域	1位	2位	3位	4位	5位
北勢地域	(12)三重県産の農林水産物を買いたい 85.5 (-1.5)	(10)自分の住んでいる地域に愛着があり、今後も住み続けたい 72.9 (-1.2)	(3)犯罪や事故が少なく、安全に暮らしている 60.0 (3.8)	(9)スポーツを通じて夢や感動が育まれている 56.3 (-2.2)	(8)地域社会の見守りの中で、子どもが元気に育っている 52.2 (-0.4)
伊賀地域	(12)三重県産の農林水産物を買いたい 85.8 (-1.3)	(10)自分の住んでいる地域に愛着があり、今後も住み続けたい 66.6 (-0.9)	(3)犯罪や事故が少なく、安全に暮らしている 63.0 (1.1)	(8)地域社会の見守りの中で、子どもが元気に育っている 56.9 (1.7)	(9)スポーツを通じて夢や感動が育まれている 56.2 (2.6)
中南勢地域	(12)三重県産の農林水産物を買いたい 88.2 (1.1)	(10)自分の住んでいる地域に愛着があり、今後も住み続けたい 74.8 (1.6)	(9)スポーツを通じて夢や感動が育まれている 59.7 (5.4)	(3)犯罪や事故が少なく、安全に暮らしている 59.2 (1.6)	(8)地域社会の見守りの中で、子どもが元気に育っている 55.2 (1.9)
伊勢志摩地域	(12)三重県産の農林水産物を買いたい 86.9 (-2.3)	(10)自分の住んでいる地域に愛着があり、今後も住み続けたい 73.4 (-0.2)	(3)犯罪や事故が少なく、安全に暮らしている 64.7 (1.4)	(9)スポーツを通じて夢や感動が育まれている 57.4 (0.2)	(8)地域社会の見守りの中で、子どもが元気に育っている 53.7 (1.2)
東紀州地域	(12)三重県産の農林水産物を買いたい 85.0 (-2.1)	(10)自分の住んでいる地域に愛着があり、今後も住み続けたい 77.1 (3.9)	(3)犯罪や事故が少なく、安全に暮らしている 75.7 (2.0)	(8)地域社会の見守りの中で、子どもが元気に育っている 52.9 (-2.4)	(9)スポーツを通じて夢や感動が育まれている 50.0 (-6.3)

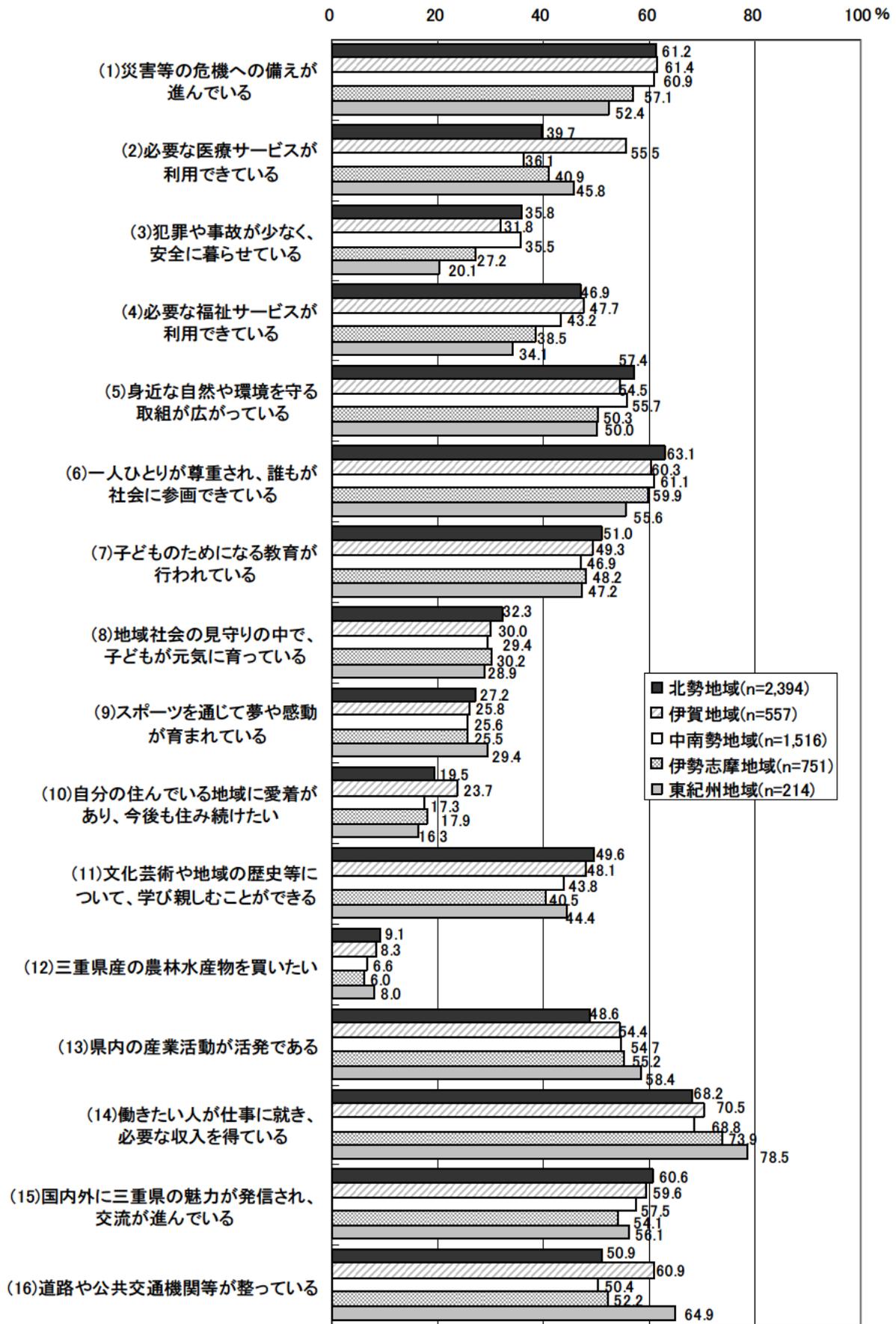
図表2-2-3 地域や社会の状況について「実感していない層」の割合(地域別上位5項目) (%)

地域	1位	2位	3位	4位	5位
北勢地域	(14)働きたい人が仕事に就き、必要な収入を得ている 68.2 (-3.1)	(6)一人ひとりが尊重され、誰もが社会に参画できている 63.1 (-1.8)	(1)災害等の危機への備えが進んでいる 61.2 (-7.9)	(15)国内外に三重県の魅力が発信され、交流が進んでいる 60.6 (-4.8)	(5)身近な自然や環境を守る取組が広がっている 57.4 (-0.1)
伊賀地域	(14)働きたい人が仕事に就き、必要な収入を得ている 70.5 (-3.7)	(1)災害等の危機への備えが進んでいる 61.4 (-3.1)	(16)道路や公共交通機関等が整っている 60.9 (-7.2)	(6)一人ひとりが尊重され、誰もが社会に参画できている 60.3 (-0.7)	(15)国内外に三重県の魅力が発信され、交流が進んでいる 59.6 (-6.9)
中南勢地域	(14)働きたい人が仕事に就き、必要な収入を得ている 68.8 (-2.1)	(6)一人ひとりが尊重され、誰もが社会に参画できている 61.1 (-1.1)	(1)災害等の危機への備えが進んでいる 60.9 (-4.1)	(15)国内外に三重県の魅力が発信され、交流が進んでいる 57.5 (-4.3)	(5)身近な自然や環境を守る取組が広がっている 55.7 (-1.0)
伊勢志摩地域	(14)働きたい人が仕事に就き、必要な収入を得ている 73.9 (-5.0)	(6)一人ひとりが尊重され、誰もが社会に参画できている 59.9 (-2.2)	(1)災害等の危機への備えが進んでいる 57.1 (-7.1)	(13)県内の産業活動が活発である 55.2 (-5.1)	(15)国内外に三重県の魅力が発信され、交流が進んでいる 54.1 (-10.7)
東紀州地域	(14)働きたい人が仕事に就き、必要な収入を得ている 78.5 (0.3)	(16)道路や公共交通機関等が整っている 64.9 (-11.5)	(13)県内の産業活動が活発である 58.4 (-1.5)	(15)国内外に三重県の魅力が発信され、交流が進んでいる 56.1 (-5.1)	(6)一人ひとりが尊重され、誰もが社会に参画できている 55.6 (-6.4)

図表 2-2-4 地域や社会の状況について「実感している層」の割合(地域別)



図表 2-2-5 地域や社会の状況について「実感していない層」の割合（地域別）



問2 - (1) 災害等の危機への備えが進んでいると感じますか。

災害等の危機への備えが進んでいるかどうかの実感については、「感じない」と「どちらかといえば感じない」を合計した「実感していない層」の割合が60.2%で、「感じる」と「どちらかといえば感じる」を合計した「実感している層」の割合(30.6%)より29.6ポイント高くなっています。

問2の16項目の中では、『(14)働きたい人が仕事に就き、必要な収入を得ている』、『(6)一人ひとりが尊重され、誰もが社会に参画できている』に次いで3番目に「実感していない層」の割合が高くなっています。

前回調査と比較すると「実感している層」の割合が6.2ポイント高くなっており、問2の16項目の中では最も上昇幅が大きくなっています。

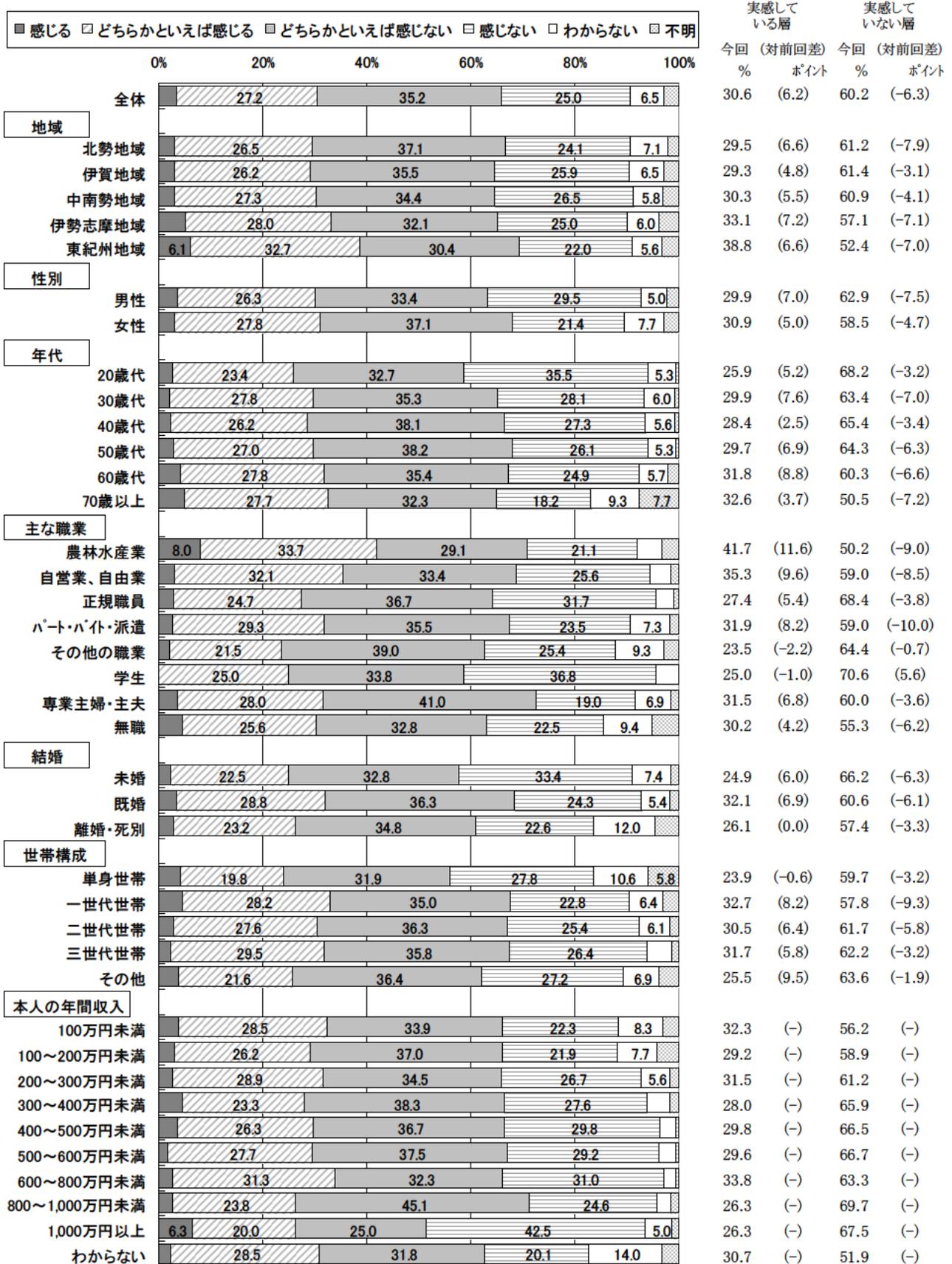
県全体との比較において特徴の見られる主な属性項目は次のとおりです。

- ・20歳代の「感じない」の割合が35.5%で、県全体より10.5ポイント高くなっています。
- ・農林水産業の「実感している層」の割合が41.7%で、県全体より11.1ポイント高くなっています。また、前回調査と比較して「実感している層」の割合が11.6ポイント高くなっています。
- ・学生の「実感していない層」の割合が70.6%、そのうち「感じない」の割合が36.8%で、県全体よりそれぞれ10.4ポイント、11.8ポイント高くなっています。また、前回調査と比較して「実感していない層」の割合が5.6ポイント高くなっており、県全体における前回調査との差(-6.3ポイント)より11.9ポイント大きくなっています。
- ・本人の年間収入額が1,000万円以上の層の「感じない」の割合が42.5%で、県全体より17.5ポイント高くなっています。

属性項目間の比較において特徴が見られる主な属性は次のとおりです。

- ・年代別では、年代が若くなるほど「感じない」の割合が高く、70歳以上は18.2%であるのに対し、20歳代は35.5%となっています。
- ・主な職業別では、パート・アルバイト・派遣社員の「実感していない層」の割合(59.0%)が前回調査と比べて10.0ポイント減少しています。
- ・本人の年間収入別では、800万円から1,000万円未満の層は「実感していない層」の割合が69.7%と本人の年間収入別の層の中で最も高く、100万円未満の層は56.2%と最も低くなっています。また、1,000万円以上の層は「感じない」の割合が42.5%で、他の年間収入の層に比べて10ポイント以上高くなっています。

図表 2-2-6 災害等への危機への備えが進んでいる



※「実感している層」の割合・・・「感じる」と「どちらかといえば感じる」の割合を小数点第2位で四捨五入した数値の合計

※「実感していない層」の割合・・・「感じない」と「どちらかといえば感じない」の割合を小数点第2位で四捨五入した数値の合計

問2 - (2) 必要な医療サービスが利用できていると感じますか。

必要な医療サービスが利用できているかどうかの実感については、「感じる」と「どちらかといえ
ば感じる」を合計した「実感している層」の割合が 48.8%で、「感じない」と「どちらかといえ
ば感じない」を合計した「実感していない層」の割合(40.8%)より 8.0ポイント高くなってい
ます。

前回調査と比較すると「実感している層」の割合が 3.4ポイント高くなっており、問2の16項目
の中では、3番目に上昇幅が大きくなっています。

県全体との比較において特徴の見られる主な属性項目は次のとおりです。

- ・伊賀地域は「実感していない層」の割合が 55.5%で県全体より 14.7ポイント高くなっています。
- ・70歳以上は「実感している層」の割合が 59.9%で、県全体より 11.1ポイント高くなっています。
- ・農林水産業は「実感している層」の割合が前回調査より 12.0ポイント高い 64.6%で、県全体よ
り 15.8ポイント高くなっています。

属性項目間の比較において特徴が見られる主な属性は次のとおりです。

- ・地域別では、北勢地域、中南勢地域、伊勢志摩地域は「実感している層」の割合が「実感してい
ない層」の割合より高くなっています。一方、伊賀地域、東紀州地域は「実感していない層」の
割合が「実感している層」の割合より高くなっています。特に、伊賀地域は「実感していない層」
の割合が 55.5%と地域の中で最も高くなっています。

また、伊勢志摩地域は、前回調査では「実感している層」の割合が「実感していない層」の割
合よりも低くなっていましたが、今回調査では高くなっています。

- ・年代別では、50歳代の「実感している層」の割合が 40.5%と最も低く、50歳代を底辺としたU
字曲線となっています。
- ・主な職業別では、正規職員、パート・アルバイト・派遣社員は「実感していない層」の割合が「実
感している層」の割合より高く、それ以外の職業は「実感している層」の割合が「実感していな
い層」の割合より高くなっています。

図表 2-2-7 必要な医療サービスが利用できている

		■ 感じる □ どちらかといえば感じる □ どちらかといえば感じない □ 感じない □ わからない □ 不明					実感している層		実感していない層		
		0%	20%	40%	60%	80%	100%	今回 %	対前回差 (ポイント)	今回 %	対前回差 (ポイント)
地域	全体	10.8	38.0	23.3	17.5	7.9		48.8	(3.4)	40.8	(-4.3)
	北勢地域	11.1	38.8	23.5	16.2	8.2		49.9	(1.8)	39.7	(-3.2)
	伊賀地域	8.4	24.8	28.2	27.3	8.4		33.2	(3.8)	55.5	(-6.7)
	中南勢地域	11.5	43.3	21.1	15.0	6.6		54.8	(5.3)	36.1	(-4.3)
	伊勢志摩地域	11.3	35.3	22.5	18.4	8.8		46.6	(4.9)	40.9	(-7.9)
	東紀州地域	7.5	36.0	25.7	20.1	8.4		43.5	(6.5)	45.8	(-5.5)
性別	男性	11.1	39.0	23.1	18.8	6.1		50.1	(3.1)	41.9	(-2.9)
	女性	10.3	37.4	23.7	16.3	9.3		47.7	(3.7)	40.0	(-5.9)
年代	20歳代	12.5	38.3	18.1	16.8	13.7		50.8	(2.5)	34.9	(-7.5)
	30歳代	7.7	41.1	25.4	17.6	7.5		48.8	(7.0)	43.0	(-5.9)
	40歳代	6.0	35.6	29.6	20.0	7.9		41.6	(1.7)	49.6	(-2.4)
	50歳代	5.5	35.0	26.9	23.7	7.9		40.5	(1.2)	50.6	(-2.3)
	60歳代	9.9	39.0	23.4	17.4	7.9		48.9	(5.3)	40.8	(-5.6)
	70歳以上	19.7	40.2	16.6	10.9	6.5	6.1	59.9	(2.1)	27.5	(-4.5)
主な職業	農林水産業	21.7	42.9	16.6	13.1			64.6	(12.0)	29.7	(-10.6)
	自営業、自由業	10.9	37.0	24.0	17.9	8.0		47.9	(2.5)	41.9	(-4.2)
	正規職員	6.8	38.8	25.1	21.9	6.6		45.6	(1.2)	47.0	(-1.0)
	パート・バイト・派遣	8.0	35.9	25.9	18.4	9.6		43.9	(6.9)	44.3	(-8.1)
	その他の職業	11.7	31.2	26.8	20.5	7.3		42.9	(3.4)	47.3	(-5.3)
	学生	13.2	39.7	22.1	14.7	10.3		52.9	(-3.0)	36.8	(-0.9)
	専業主婦・主夫	10.6	39.4	23.5	15.4	9.6		50.0	(3.9)	38.9	(-5.3)
	無職	15.4	39.9	19.8	13.7	7.0		55.3	(3.0)	33.5	(-3.8)
結婚	未婚	9.9	36.1	21.3	18.4	12.4		46.0	(4.9)	39.7	(-8.4)
	既婚	10.3	39.4	24.3	17.8	6.7		49.7	(3.6)	42.1	(-3.3)
	離婚・死別	11.6	34.4	22.6	16.1	10.6		46.0	(-1.6)	38.7	(-3.5)
世帯構成	単身世帯	11.6	32.1	22.5	19.1	9.2	5.6	43.7	(-2.1)	41.6	(1.2)
	一世帯世帯	12.8	38.4	21.3	16.9	7.6		51.2	(5.3)	38.2	(-6.7)
	二世帯世帯	8.8	39.6	24.4	17.8	7.8		48.4	(5.5)	42.2	(-6.1)
	三世帯世帯	10.4	39.0	25.3	16.8	7.3		49.4	(-4.0)	42.1	(3.4)
	その他	14.4	33.4	23.0	17.4	9.2		47.8	(8.3)	40.4	(-12.7)
本人の年間収入	100万円未満	12.0	38.6	21.3	16.4	9.1		50.6	(-)	37.7	(-)
	100~200万円未満	10.9	37.0	22.9	16.5	8.6		47.9	(-)	39.4	(-)
	200~300万円未満	13.8	36.6	24.3	17.4	6.2		50.4	(-)	41.7	(-)
	300~400万円未満	9.5	38.7	26.1	17.1	6.8		48.2	(-)	43.2	(-)
	400~500万円未満	6.9	41.2	23.7	19.9	8.0		48.1	(-)	43.6	(-)
	500~600万円未満	8.0	40.5	28.0	18.6			48.5	(-)	46.6	(-)
	600~800万円未満	7.2	40.8	25.1	21.0	5.6		48.0	(-)	46.1	(-)
	800~1,000万円未満	7.4	41.0	27.9	18.9			48.4	(-)	46.8	(-)
	1,000万円以上	12.5	40.0	16.3	22.5	7.5		52.5	(-)	38.8	(-)
	わからない	12.8	31.3	20.1	16.2	15.1		44.1	(-)	36.3	(-)

※「実感している層」の割合・・・「感じる」と「どちらかといえば感じる」の割合を小数点第2位で四捨五入した数値の合計

※「実感していない層」の割合・・・「感じない」と「どちらかといえば感じない」の割合を小数点第2位で四捨五入した数値の合計

問2 - (3) 犯罪や事故が少なく、安全に暮らせていると感じますか。

犯罪や事故が少なく、安全に暮らせているかどうかの実感については、「感じる」と「どちらかといえば感じる」を合計した「実感している層」の割合が61.4%で、「感じない」と「どちらかといえば感じない」を合計した「実感していない層」の割合(33.5%)より27.9ポイント高くなっています。

問2の16項目の中では、『(12)三重県産の農林水産物を買いたい』、『(10)自分の住んでいる地域に愛着があり、今後も住み続けたい』に次いで3番目に「実感している層」の割合が高くなっています。

前回調査と比較すると「実感している層」の割合が2.5ポイント高くなっています。

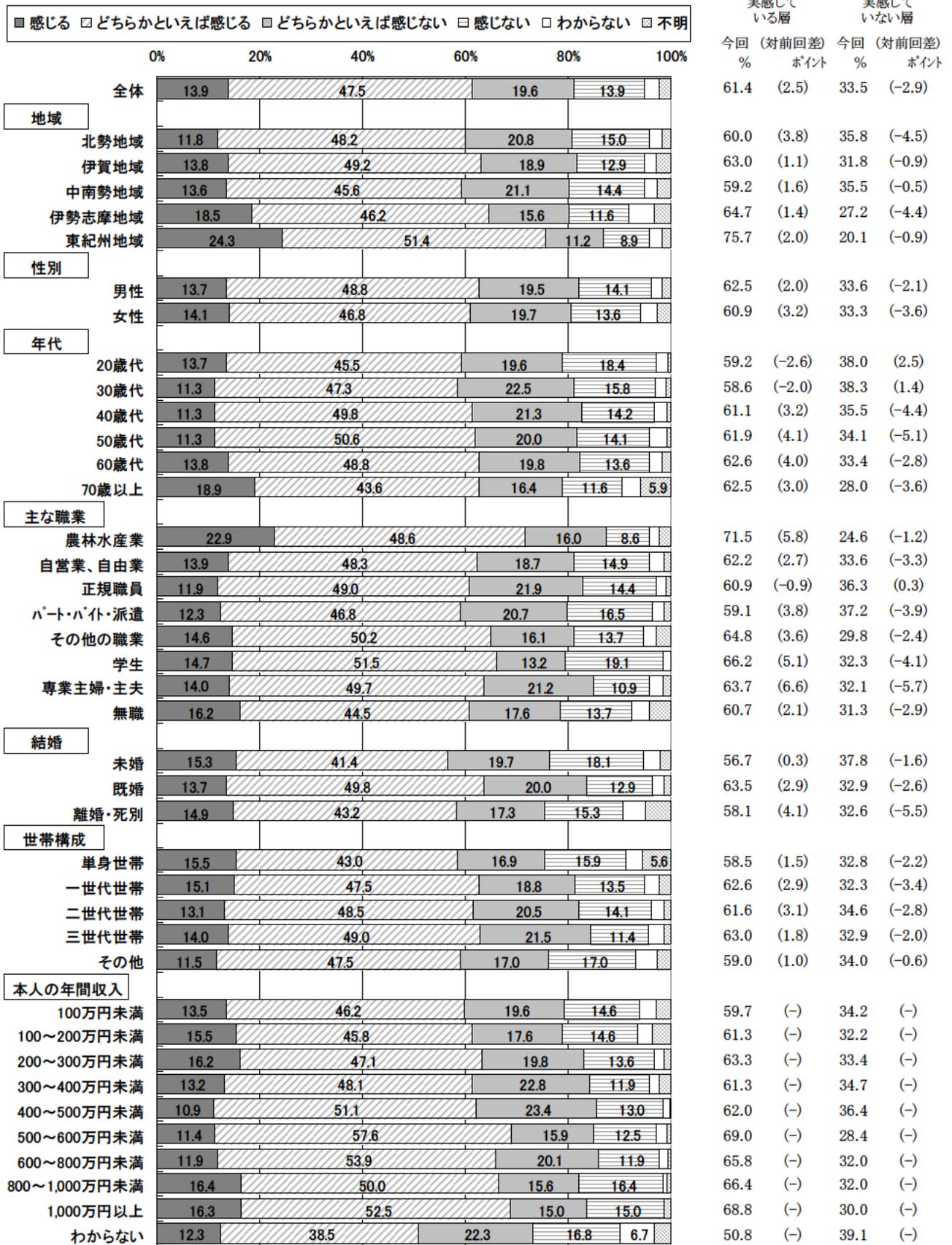
県全体との比較において特徴の見られる主な属性項目は次のとおりです。

- ・東紀州地域の「実感している層」の割合が75.7%、そのうち「感じる」の割合が24.3%で、県全体よりそれぞれ14.3ポイント、10.4ポイント高くなっています。
- ・農林水産業の「実感している層」の割合が71.5%で、県全体より10.1ポイント高くなっています。
- ・県全体の「実感している層」の割合は前回調査と比較して2.5ポイント高くなっている一方、20歳代、30歳代の「実感している層」の割合は、それぞれ2.6ポイント、2.0ポイント低くなっています。

属性項目間の比較において特徴が見られる主な属性は次のとおりです。

- ・地域別では、東紀州地域は「実感している層」の割合が75.7%と地域の中で最も高く、最も低い中南勢地域(59.2%)と比べて16.5ポイント高くなっています。

図表 2-2-8 犯罪や事故が少なく、安全に暮らしている



※「実感している層」の割合・・・「感じる」と「どちらかといえば感じる」の割合を小数点第2位で四捨五入した数値の合計

※「実感していない層」の割合・・・「感じない」と「どちらかといえば感じない」の割合を小数点第2位で四捨五入した数値の合計

問2 - (4) 必要な福祉サービスが利用できていると感じますか。

必要な福祉サービスが利用できているかどうかの実感については、「感じない」と「どちらかといえば感じない」を合計した「実感していない層」の割合が44.3%で、「感じる」と「どちらかといえば感じる」を合計した「実感している層」の割合(34.0%)より10.3ポイント高くなっています。

前回調査と比較すると「実感している層」の割合が1.3ポイント高くなっています。

県全体との比較において特徴の見られる主な属性項目は次のとおりです。

- ・70歳以上の「実感している層」の割合が45.7%で、県全体より11.7ポイント高くなっています。
- ・農林水産業の「実感している層」の割合が54.2%で、県全体より20.2ポイント高くなっています。
- ・本人の年間収入額が600万円から800万円未満の層の「実感していない層」の割合が56.4%で、県全体より12.1ポイント高くなっています。

属性項目間の比較において特徴が見られる主な属性は次のとおりです。

- ・地域別では、東紀州地域を除くすべての地域で「実感していない層」の割合が「実感している層」の割合より高くなっています。特に、北勢地域と伊賀地域は「実感していない層」の割合が「実感している層」の割合より15ポイント以上高くなっています。一方、東紀州地域は「実感している層」の割合が43.9%で「実感していない層」の割合(34.1%)より9.8ポイント高くなっています。
- ・年代別では、70歳以上以外のすべての年代で「実感していない層」の割合が「実感している層」の割合より高くなっています。一方、70歳以上は「実感している層」の割合が45.7%で「実感していない層」の割合(33.8%)より高くなっています。また、若い世代ほど「わからない」の割合が高く、20歳代は31.5%となっています。
- ・主な職業別では、農林水産業と無職を除くすべての職業で「実感していない層」の割合が「実感している層」の割合より高くなっています。特に、正規職員は「実感していない層」の割合が53.1%で、職業の中で最も高くなっています。

図表 2-2-9 必要な福祉サービスが利用できている

		■ 感じる □ どちらかといえば感じる □ どちらかといえば感じない □ 感じない □ わからない □ 不明					実感している層		実感していない層		
		0%	20%	40%	60%	80%	100%	今回 %	(対前回差) ポイント	今回 %	(対前回差) ポイント
地域	全体	6.0	28.0	26.6	17.7	18.6		34.0	(1.3)	44.3	(-1.7)
	北勢地域	5.5	25.8	27.4	19.5	19.3		31.3	(0.6)	46.9	(-0.3)
	伊賀地域	5.4	25.7	30.5	17.2	18.0		31.1	(-1.3)	47.7	(1.2)
	中南勢地域	5.7	30.1	26.1	17.1	17.6		35.8	(1.5)	43.2	(-1.9)
	伊勢志摩地域	7.9	30.5	23.6	14.9	18.9		38.4	(5.2)	38.5	(-6.8)
	東紀州地域	8.4	35.5	21.0	13.1	19.2		43.9	(1.1)	34.1	(-4.3)
性別	男性		29.1	28.6	19.2	15.8		34.0	(1.6)	47.8	(-1.0)
	女性	6.7	27.3	25.2	16.4	21.3		34.0	(1.1)	41.6	(-2.1)
年代	20歳代	5.0	23.1	25.2	14.6	31.5		28.1	(1.4)	39.8	(1.6)
	30歳代		24.0	28.8	19.1	24.3		26.9	(-1.6)	47.9	(3.0)
	40歳代		23.5	29.7	20.9	22.0		26.6	(2.6)	50.6	(-2.0)
	50歳代		26.5	30.6	20.8	17.4		30.3	(0.1)	51.4	(-0.6)
	60歳代	5.9	29.9	27.0	17.5	16.7		35.8	(1.7)	44.5	(-2.7)
	70歳以上	11.2	34.5	20.4	13.4	13.2	7.3	45.7	(2.3)	33.8	(-4.7)
主な職業	農林水産業	13.1	41.1	19.4	12.0	13.1		54.2	(4.5)	31.4	(-5.2)
	自営業、自由業	7.4	27.1	25.4	19.1	18.9		34.5	(-1.1)	44.5	(1.0)
	正規職員		24.7	32.3	20.8	18.2		27.9	(-0.3)	53.1	(2.4)
	パート・バイト・派遣		24.2	26.4	20.2	23.5		28.3	(0.6)	46.6	(-2.5)
	その他の職業	5.9	22.9	30.2	16.6	20.5		28.8	(0.5)	46.8	(-3.8)
	学生		23.5	26.5	11.8	36.8		25.0	(0.3)	38.3	(-0.7)
	専業主婦・主夫	7.0	30.2	24.7	13.7	21.6		37.2	(4.1)	38.4	(-4.1)
	無職	8.9	32.9	23.0	16.0	13.8	5.4	41.8	(3.4)	39.0	(-4.6)
結婚	未婚		23.5	25.8	19.4	25.4		27.3	(1.0)	45.2	(-2.5)
	既婚	5.7	29.4	27.5	17.3	18.0		35.1	(1.3)	44.8	(-1.2)
	離婚・死別	7.1	25.7	23.8	20.0	18.1	5.3	32.8	(-0.3)	43.8	(-2.2)
世帯構成	単身世帯	6.5	22.0	24.6	20.8	20.8	5.3	28.5	(-0.7)	45.4	(-1.4)
	一世代世帯	7.0	30.3	24.1	17.2	17.9		37.3	(5.2)	41.3	(-6.0)
	二世帯世帯		26.9	28.1	17.7	20.6		31.7	(0.9)	45.8	(-1.0)
	三世帯世帯	5.3	30.5	29.1	17.8	16.0		35.8	(-4.5)	46.9	(5.0)
	その他	9.2	31.8	25.6	16.4	12.8		41.0	(-4.7)	42.0	(1.2)
本人の年間収入	100万円未満	6.7	27.4	23.5	17.9	20.8		34.1	(-)	41.4	(-)
	100~200万円未満	7.4	28.7	24.6	15.7	19.6		36.1	(-)	40.3	(-)
	200~300万円未満	6.4	30.5	26.5	19.7	15.4		36.9	(-)	46.2	(-)
	300~400万円未満		26.3	30.0	16.9	19.6		31.2	(-)	46.9	(-)
	400~500万円未満		30.1	28.2	19.7	18.6		33.0	(-)	47.9	(-)
	500~600万円未満		30.3	33.7	15.5	15.5		34.8	(-)	49.2	(-)
	600~800万円未満		25.1	36.7	19.7	14.7		28.2	(-)	56.4	(-)
	800~1,000万円未満		30.3	30.3	23.0	12.3		33.6	(-)	53.3	(-)
	1,000万円以上	5.0	25.0	21.3	23.8	22.5		30.0	(-)	45.1	(-)
	わからない	7.3	22.9	29.1	14.0	22.9		30.2	(-)	43.1	(-)

※「実感している層」の割合・・・「感じる」と「どちらかといえば感じる」の割合を小数点第2位で四捨五入した数値の合計

※「実感していない層」の割合・・・「感じない」と「どちらかといえば感じない」の割合を小数点第2位で四捨五入した数値の合計

問2 - (5) 身近な自然や環境を守る取組が広がっていると感じますか。

身近な自然や環境を守る取組が広がっているかどうかの実感については、「感じない」と「どちらかといえば感じない」を合計した「実感していない層」の割合が55.3%で、「感じる」と「どちらかといえば感じる」を合計した「実感している層」の割合(29.1%)より26.2ポイント高くなっています。

前回調査と比較すると「実感している層」の割合が0.7ポイント高くなっています。

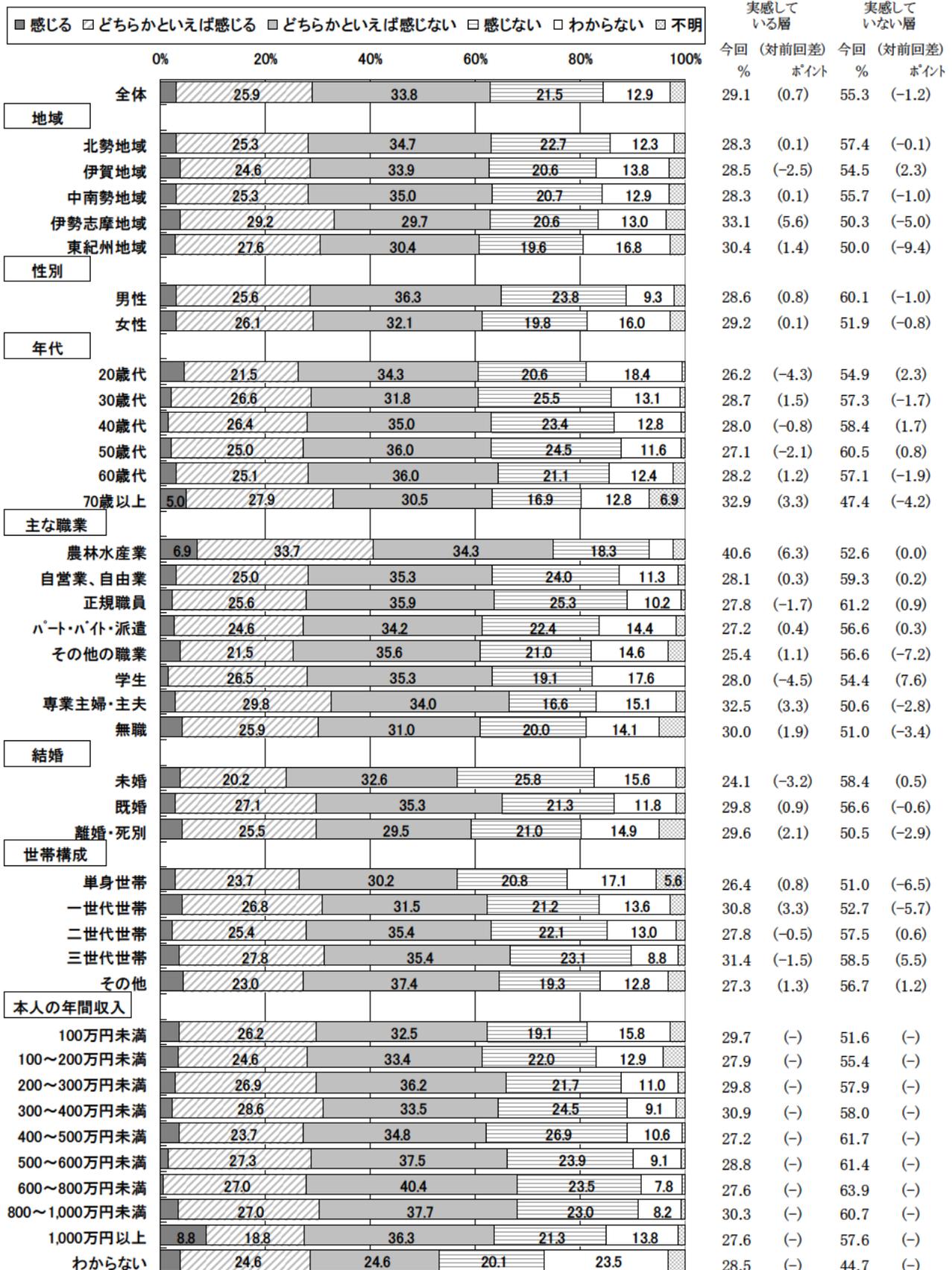
県全体との比較において特徴が見られる主な属性項目は次のとおりです。

- ・農林水産業の「実感している層」の割合が40.6%で、県全体より11.5ポイント高くなっています。

属性項目間の比較において特徴が見られる主な属性は次のとおりです。

- ・主な職業別では、学生は「実感している層」の割合が前回調査より4.5ポイント低く、「実感していない層」の割合が7.6ポイント高くなっています。

図表 2-2-10 身近な自然や環境を守る取組が広がっている



※「実感している層」の割合・・・「感じる」と「どちらかといえば感じる」の割合を小数点第2位で四捨五入した数値の合計

※「実感していない層」の割合・・・「感じない」と「どちらかといえば感じない」の割合を小数点第2位で四捨五入した数値の合計

問2 - (6) 一人ひとりが尊重され、誰もが社会に参画できていると感じますか。

一人ひとりが尊重され、誰もが社会に参画できているかどうかの実感については、「感じない」と「どちらかといえば感じない」を合計した「実感していない層」の割合が61.5%で、「感じる」と「どちらかといえば感じる」を合計した「実感している層」の割合(20.4%)より41.1ポイント高くなっています。

問2の16項目の中では、『(14)働きたい人が仕事に就き、必要な収入を得ている』に次いで「実感していない層」の割合が高くなっています。

前回調査と比較すると「実感している層」の割合が0.6ポイント高くなっています。

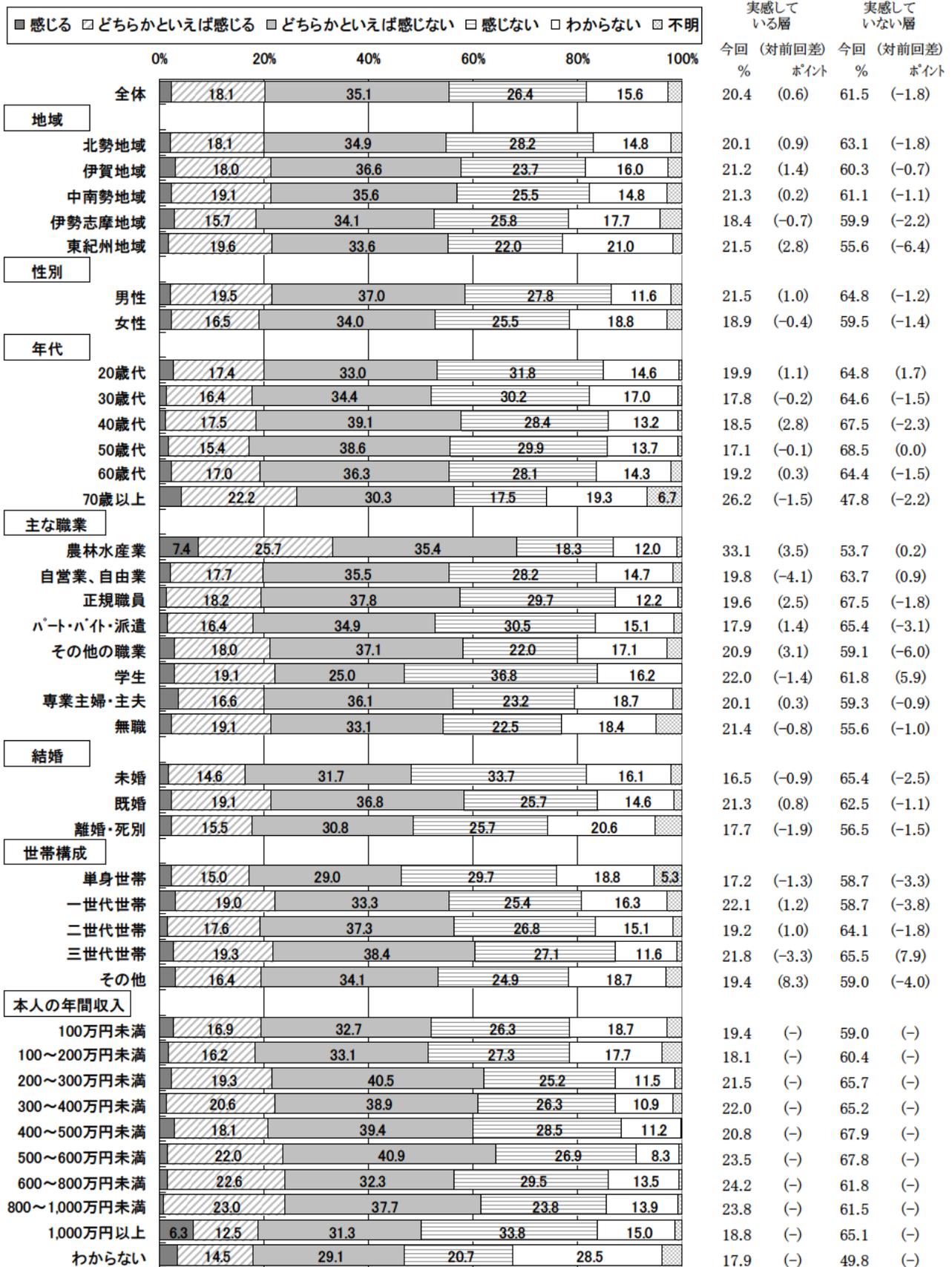
県全体との比較において特徴が見られる主な属性項目は次のとおりです。

- ・農林水産業の「実感している層」の割合が33.1%で、県全体より12.7ポイント高くなっています。
- ・学生の「感じない」の割合が36.8%で、県全体より10.4ポイント高くなっています。

属性項目間の比較において特徴が見られる主な属性は次のとおりです。

- ・主な職業別では、すべての職業で「実感していない層」の割合が「実感している層」の割合より高くなっています。

図表 2-2-11 一人ひとりが尊重され、誰もが社会に参画できている



※「実感している層」の割合・・・「感じる」と「どちらかといえば感じる」の割合を小数点第2位で四捨五入した数値の合計

※「実感していない層」の割合・・・「感じない」と「どちらかといえば感じない」の割合を小数点第2位で四捨五入した数値の合計

問2 - (7) 子どものためになる教育が行われていると感じますか。

子どものためになる教育が行われているかどうかの実感については、「感じない」と「どちらかといえば感じない」を合計した「実感していない層」の割合が49.1%で、「感じる」と「どちらかといえば感じる」を合計した「実感している層」の割合(28.9%)より20.2ポイント高くなっています。

前回調査と比較すると「実感している層」の割合が1.2ポイント高くなっています。

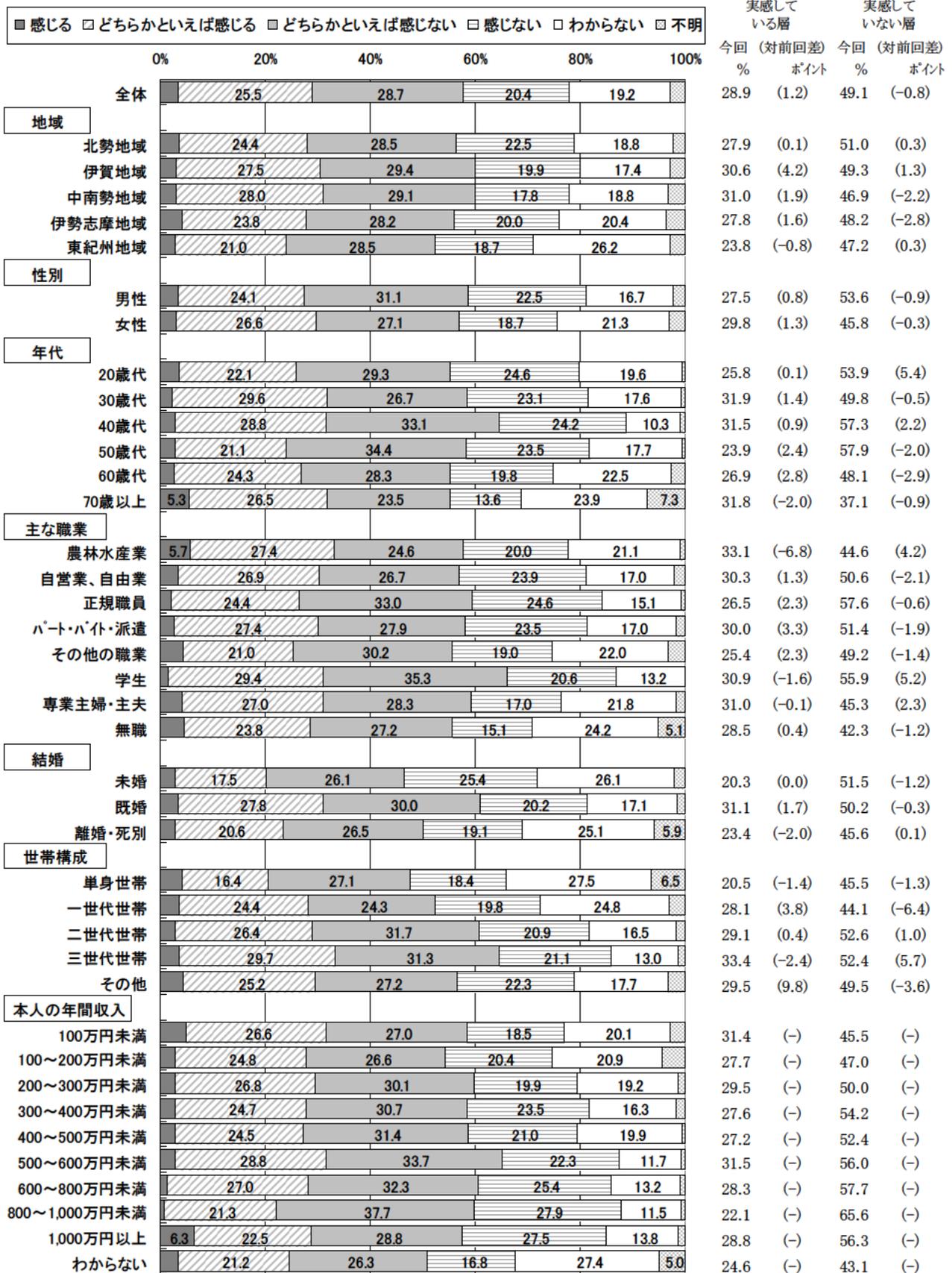
県全体との比較において特徴の見られる主な属性項目は次のとおりです。

- ・70歳以上の「実感していない層」の割合が37.1%で、県全体より12.0ポイント低くなっています。
- ・本人の年間収入額が800万円から1,000万円未満の層は「実感していない層」の割合が65.6%で、県全体より16.5ポイント高くなっています。

属性項目間の比較において特徴が見られる主な属性は次のとおりです。

- ・年代別では、すべての年代で「実感していない層」の割合が「実感している層」の割合より高く、特に、50歳代は「実感していない層」の割合が57.9%で、「実感している層」の割合(23.9%)より34.0ポイント高くなっています。
- ・主な職業別では、すべての職業で「実感していない層」の割合が「実感している層」の割合より高く、特に、正規職員は「実感していない層」の割合が57.6%で、農林水産業(44.6%)や無職(42.3%)などより10ポイント以上高くなっています。
- ・世帯構成別では、世帯を構成する世代数が多いほど「実感している層」の割合が高く、単身世帯は20.5%であるのに対し、三世帯世帯は33.4%となっています。また、世帯を構成する世代数が少ないほど「わからない」の割合が高くなっています。
- ・本人の年間収入別では、1,000万円未満の層で見ると、本人の年間収入額が高くなるほど「実感していない層」の割合が高くなる傾向にあり、800万円から1,000万円未満の層は「実感していない層」の割合(65.6%)が、「実感している層」(22.1%)より43.5ポイント高くなっています。

図表 2-2-12 子どものためになる教育が行われている



※「実感している層」の割合・・・「感じる」と「どちらかといえば感じる」の割合を小数点第2位で四捨五入した数値の合計

※「実感していない層」の割合・・・「感じない」と「どちらかといえば感じない」の割合を小数点第2位で四捨五入した数値の合計

問2 - (8) 地域社会の見守りの中で、子どもが元気に育っていると感じますか。

地域社会の見守りの中で、子どもが元気に育っているかどうかの実感については、「感じる」と「どちらかといえば感じる」を合計した「実感している層」の割合が53.8%で、「感じない」と「どちらかといえば感じない」を合計した「実感していない層」の割合(30.8%)より23.0ポイント高くなっています。

前回調査と比較すると「実感している層」の割合が0.6ポイント高くなっています。

県全体との比較において特徴の見られる主な属性項目は次のとおりです。

- ・50歳代の「実感していない層」の割合が40.8%で、県全体より10.0ポイント高くなっています。
- ・本人の年間収入額が1,000万円以上の層は「実感していない層」の割合が51.3%、そのうち「感じない」が20.0%で、県全体よりそれぞれ20.5ポイント、11.0ポイント高くなっています。
- ・学生の「実感していない層」の割合が前回調査より10.1ポイント高くなっており、県全体における前回調査との差(-0.7ポイント)より10.8ポイント大きくなっています。

属性項目間の比較において特徴が見られる主な属性は次のとおりです。

- ・年代別では、70歳以上は「実感している層」の割合が61.2%と年代の中で最も高くなっています。一方、50歳代は「実感している層」の割合(43.5%)が年代の中で最も低く、70歳以上と比べ17.7ポイント低くなっています。
- ・主な職業別では、農林水産業、専業主婦・主夫は「実感している層」の割合がそれぞれ62.3%、60.5%と他の職業より高くなっています。一方、正規職員は「実感している層」の割合が47.5%と職業の中で最も低くなっています。
- ・結婚別では、既婚は「実感している層」の割合が55.9%となっている一方、未婚は44.9%となっています。
- ・世帯構成別では、三世代世帯は「実感している層」の割合が57.9%となっている一方、単身世帯は46.1%となっています。
- ・本人の年間収入別では、本人の年間収入額が高くなるほど「実感していない層」の割合が高く、100万円未満の層が26.6%となっているのに対し、1,000万円以上の層は51.3%となっています。

図表 2-2-13 地域社会の見守りの中で、子どもが元気に育っている

	■ 感じる □ どちらかといえば感じる □ どちらかといえば感じない □ 感じない □ わからない □ 不明						実感している層		実感していない層	
	0%	20%	40%	60%	80%	100%	今回 %	(対前回差) ポイント	今回 %	(対前回差) ポイント
全体	10.8	43.0	21.8	9.0	12.7		53.8	(0.6)	30.8	(-0.7)
地域										
北勢地域	9.1	43.1	22.6	9.7	13.1		52.2	(-0.4)	32.3	(-0.3)
伊賀地域	11.5	45.4	20.8	9.2	10.6		56.9	(1.7)	30.0	(0.7)
中南勢地域	11.1	44.1	21.0	8.4	12.5		55.2	(1.9)	29.4	(-1.6)
伊勢志摩地域	13.4	40.3	21.0	9.2	12.0		53.7	(1.2)	30.2	(-1.1)
東紀州地域	15.0	37.9	23.8	5.1	16.8		52.9	(-2.4)	28.9	(1.6)
性別										
男性	9.8	41.1	25.6	10.2	11.1		50.9	(0.0)	35.8	(-0.5)
女性	11.4	44.9	19.0	8.0	14.1		56.3	(0.7)	27.0	(-0.3)
年代										
20歳代	10.0	43.0	22.4	9.3	14.6		53.0	(-0.8)	31.7	(4.7)
30歳代	8.7	47.9	20.4	9.8	12.3		56.6	(2.6)	30.2	(-1.4)
40歳代	8.4	44.4	26.4	10.8	9.4		52.8	(-1.8)	37.2	(1.6)
50歳代		38.8	27.5	13.3	14.4		43.5	(-0.9)	40.8	(-1.2)
60歳代	9.6	44.0	21.7	8.5	13.7		53.6	(1.3)	30.2	(-1.3)
70歳以上	19.0	42.2	15.4	12.4	6.5		61.2	(0.9)	20.0	(-1.6)
主な職業										
農林水産業	19.4	42.9	22.3	6.3	7.4		62.3	(-6.7)	28.6	(7.5)
自営業、自由業	11.1	44.5	21.2	11.6	9.5		55.6	(2.5)	32.8	(-2.0)
正規職員	6.0	41.5	27.3	12.2	12.1		47.5	(0.1)	39.5	(-0.1)
パート・バイト・派遣	9.1	44.1	21.4	10.3	13.2		53.2	(1.4)	31.7	(-2.1)
その他の職業	13.7	35.1	21.5	8.8	17.1		48.8	(-3.8)	30.3	(3.3)
学生	8.8	47.1	22.1	8.8	13.2		55.9	(-6.5)	30.9	(10.1)
専業主婦・主夫	11.6	48.9	18.9	6.2	12.4		60.5	(2.3)	25.1	(-0.4)
無職	14.5	42.0	18.5	5.7	14.9		56.5	(0.7)	24.2	(-1.3)
結婚										
未婚	7.6	37.3	22.0	11.7	19.4		44.9	(0.9)	33.7	(2.4)
既婚	10.6	45.3	22.6	8.9	10.8		55.9	(0.3)	31.5	(-0.5)
離婚・死別	10.8	39.7	19.8	8.3	17.1		50.5	(1.9)	28.1	(-1.9)
世帯構成										
単身世帯	9.4	36.7	20.0	9.2	19.3	5.3	46.1	(1.2)	29.2	(0.9)
一世代世帯	11.9	42.0	19.4	7.9	15.5		53.9	(0.0)	27.3	(-3.2)
二世帯世帯	9.1	44.2	23.4	9.9	11.6		53.3	(0.9)	33.3	(-0.3)
三世帯世帯	11.9	46.0	23.9	8.8	8.5		57.9	(-1.5)	32.7	(2.6)
その他	15.1	42.6	20.7	7.9	10.8		57.7	(3.4)	28.6	(2.7)
本人の年間収入										
100万円未満	12.2	44.9	19.0	7.6	13.3		57.1	(-)	26.6	(-)
100~200万円未満	12.6	43.0	18.8	8.9	13.0		55.6	(-)	27.7	(-)
200~300万円未満	11.1	44.6	22.5	8.2	12.2		55.7	(-)	30.7	(-)
300~400万円未満	9.1	41.2	24.7	9.1	13.6		50.3	(-)	33.8	(-)
400~500万円未満	9.3	42.3	24.2	10.1	13.6		51.6	(-)	34.3	(-)
500~600万円未満		44.3	30.7	9.8	9.5		49.2	(-)	40.5	(-)
600~800万円未満		43.6	28.2	15.0	8.2		48.3	(-)	43.2	(-)
800~1,000万円未満		41.0	32.8	12.3	8.2		44.3	(-)	45.1	(-)
1,000万円以上	10.0	31.3	31.3	20.0	6.3		41.3	(-)	51.3	(-)
わからない	13.4	40.2	17.3	5.0	20.1		53.6	(-)	22.3	(-)

※「実感している層」の割合・・・「感じる」と「どちらかといえば感じる」の割合を小数点第2位で四捨五入した数値の合計
 ※「実感していない層」の割合・・・「感じない」と「どちらかといえば感じない」の割合を小数点第2位で四捨五入した数値の合計

問2 - (9) スポーツを通じて夢や感動が育まれていると感じますか。

スポーツを通じて夢や感動が育まれているかどうかの実感については、「感じる」と「どちらかといえば感じる」を合計した「実感している層」の割合が57.1%で、「感じない」と「どちらかといえば感じない」を合計した「実感していない層」の割合(26.5%)より30.6ポイント高くなっています。

前回調査と比較すると「実感している層」の割合が0.5ポイント高くなっています。

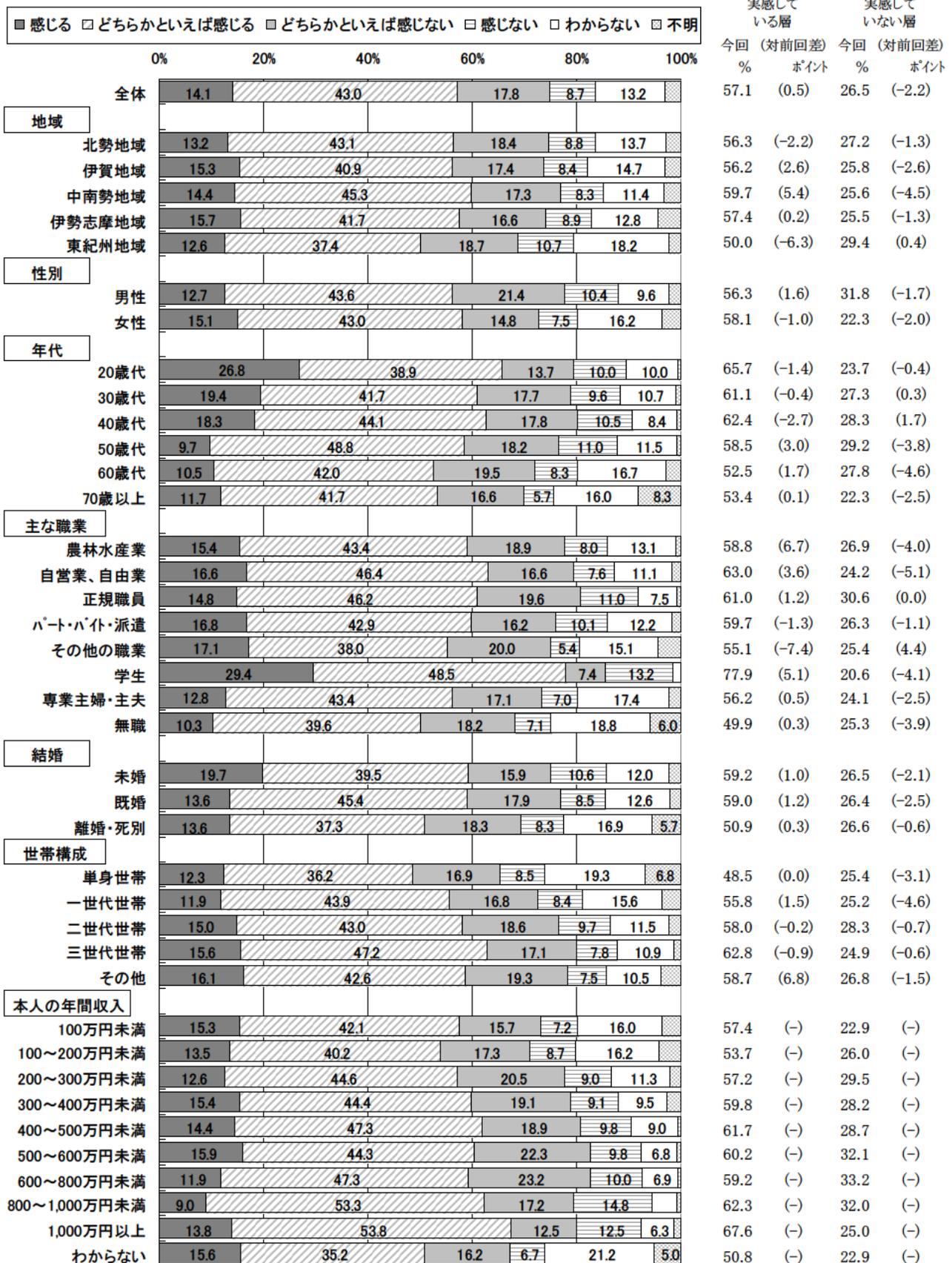
県全体との比較において特徴の見られる主な属性項目は次のとおりです。

- ・20歳代の「感じる」の割合が26.8%で、県全体より12.7ポイント高くなっています。
- ・学生の「実感している層」の割合が77.9%、そのうち「感じる」の割合が29.4%で、県全体よりそれぞれ20.8ポイント、15.3ポイント高くなっています。
- ・本人の年間収入額が1,000万円以上の層の「実感している層」の割合が67.6%で、県全体より10.5ポイント高くなっています。

属性項目間の比較において特徴が見られる主な属性は次のとおりです。

- ・地域別では、東紀州地域は「実感している層」の割合が前回調査より6.3ポイント低い50.0%で、地域の中で最も低くなっています。
- ・主な職業別では、学生は「実感している層」の割合が77.9%と職業の中で最も高く、無職や専業主婦・主夫と比べて20ポイント以上高くなっています。
- ・世帯構成別では、世帯を構成する世代数が多いほど「実感している層」の割合が高く、単身世帯は48.5%であるのに対し、三世帯世帯は62.8%となっています。ただし、世帯を構成する世代数が少ないほど「わからない」の割合が高くなっています。

図表 2-2-14 スポーツを通じて夢や感動が育まれている



※「実感している層」の割合・・・「感じる」と「どちらかといえば感じる」の割合を小数点第2位で四捨五入した数値の合計

※「実感していない層」の割合・・・「感じない」と「どちらかといえば感じない」の割合を小数点第2位で四捨五入した数値の合計

問2 - (10) 自分の住んでいる地域に愛着があり、今後も住み続けたいと感じますか。

自分の住んでいる地域に愛着があり、今後も住み続けたいかどうかの実感については、「感じる」と「どちらかといえば感じる」を合計した「実感している層」の割合が73.1%で、「感じない」と「どちらかといえば感じない」を合計した「実感していない層」の割合(18.9%)より54.2ポイント高くなっています。

問2の16項目の中で、『(12)三重県産の農林水産物を買いたい』に次いで「実感している層」の割合が高くなっています。

前回調査と比較すると「実感している層」の割合は同率となっています。

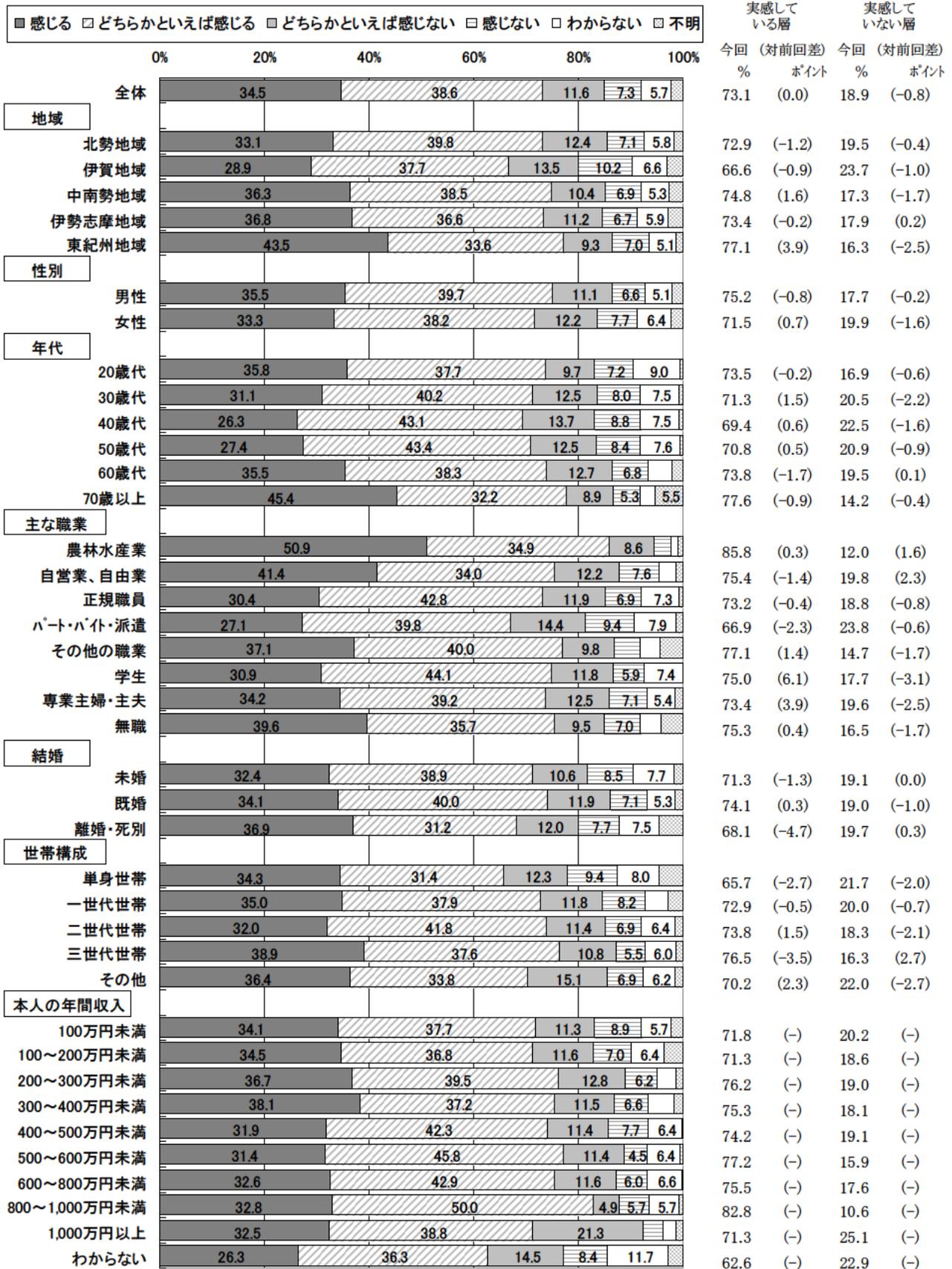
県全体との比較において特徴が見られる主な属性項目は次のとおりです。

- ・農林水産業の「実感している層」の割合が85.8%、そのうち「感じる」の割合が50.9%で、県全体よりそれぞれ12.7ポイント、16.4ポイント高くなっています。
- ・70歳以上の「感じる」の割合が45.4%で、県全体より10.9ポイント高くなっています。

属性項目間の比較において特徴が見られる主な属性は次のとおりです。

- ・地域別では、東紀州地域は「実感している層」の割合が77.1%、そのうち「感じる」の割合が43.5%で、地域の中で最も高くなっています。一方、伊賀地域は「実感している層」の割合が66.6%、そのうち「感じる」の割合が28.9%と最も低くなっています。
- ・年代別では、40歳代は「実感している層」の割合が69.4%、そのうち「感じる」の割合が26.3%と年代の中で最も低くなっており、40歳代を底辺としたU字曲線となっています。
- ・主な職業別では、農林水産業は「実感している層」の割合が85.8%、そのうち「感じる」の割合が50.9%で、職業の中で最も高くなっています。一方、パート・アルバイト・派遣社員は「実感している層」の割合が66.9%、そのうち「感じる」の割合が27.1%と最も低くなっています。
- ・世帯構成別では、世帯を構成する世代数が多いほど「実感している層」の割合が高く、単身世帯が65.7%であるのに対し、三世帯世帯は76.5%となっています。
- ・本人の年間収入別では、800万円から1,000万円未満の層は「実感している層」の割合が82.8%で、本人の年間収入別の層の中で最も高くなっています。一方、100万円から200万円未満の層と1,000万円以上の層は「実感している層」の割合が71.3%で本人の年間収入別の層の中で最も低くなっています。

図表 2-2-15 自分の住んでいる地域に愛着があり、今後も住み続けたい



※「実感している層」の割合・・・「感じる」と「どちらかといえば感じる」の割合を小数点第2位で四捨五入した数値の合計

※「実感していない層」の割合・・・「感じない」と「どちらかといえば感じない」の割合を小数点第2位で四捨五入した数値の合計

問2 - (11) 文化芸術や地域の歴史等について、学び親しむことができると感じますか。

文化芸術や地域の歴史等について、学び親しむことができるかどうかの実感については、「感じない」と「どちらかといえば感じない」を合計した「実感していない層」の割合が46.4%で、「実感している層」の割合(36.9%)より9.5ポイント高くなっています。

前回調査と比較すると「実感している層」の割合が2.1ポイント高くなっています。

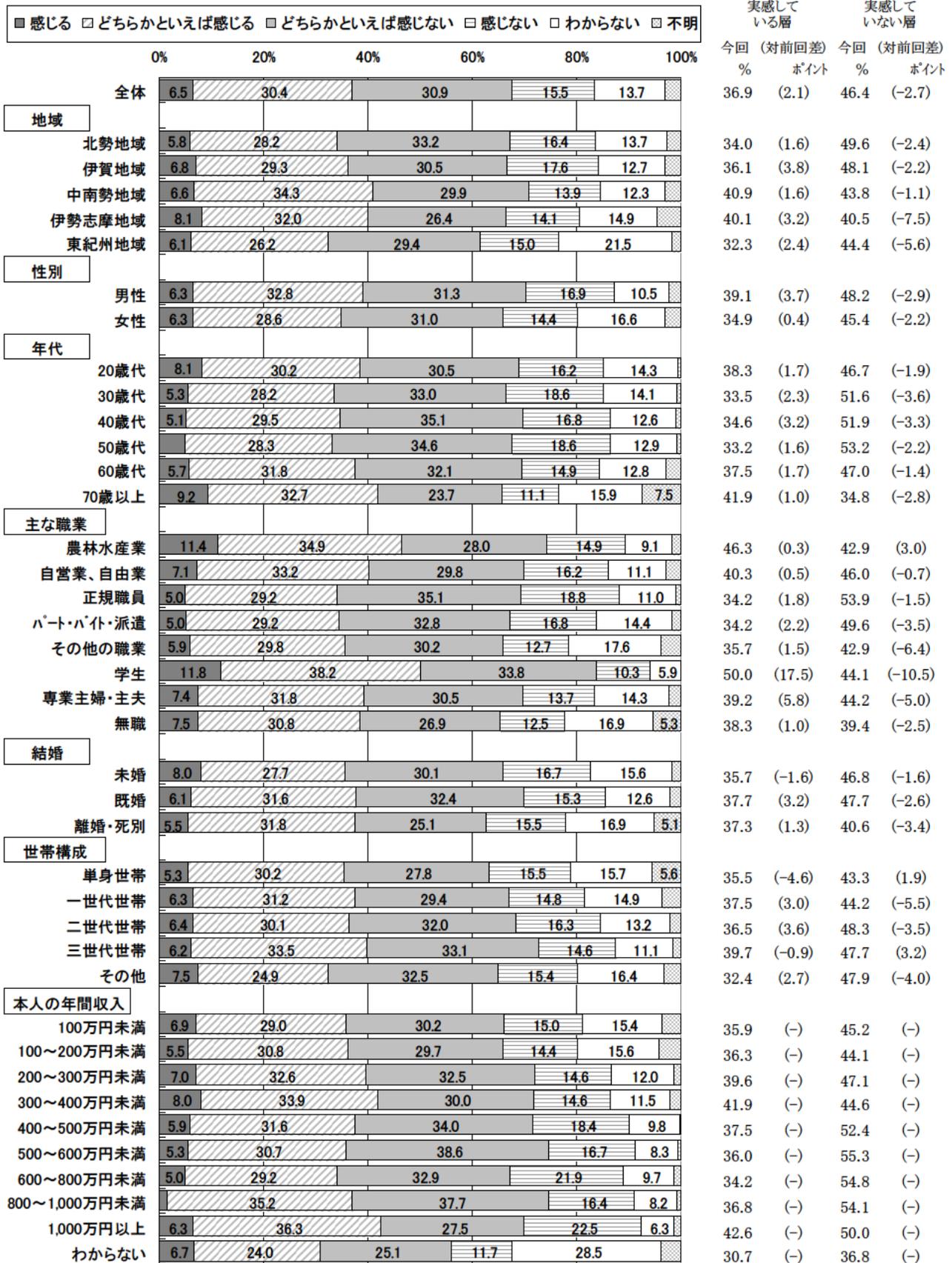
県全体との比較において特徴が見られる主な属性項目は次のとおりです。

- ・学生の「実感している層」の割合が50.0%で、県全体より13.1ポイント高くなっています。また、前回調査との差についても学生の「実感している層」の割合は17.5ポイント高くなり、県全体における前回調査との差(+2.1ポイント)より15.4ポイント大きくなっています。

属性項目間の比較において特徴が見られる主な属性は次のとおりです。

- ・年代別では、20歳代から60歳代は「実感していない層」の割合が「実感している層」の割合より高くなっています。一方、70歳以上は「実感している層」の割合(41.9%)が、「実感していない層」の割合(34.8%)より高くなっています。
- ・主な職業別では、学生と農林水産業を除くすべての職業で「実感していない層」の割合が「実感している層」の割合より高くなっています。特に正規職員は「実感していない層」の割合が53.9%となっており、職業の中で最も高くなっています。一方、学生は「実感している層」の割合が前回調査より17.5ポイント高い50.0%で、職業の中で最も高くなっています。

図表 2-2-16 文化芸術や地域の歴史等について、学び親しむことができる



※「実感している層」の割合・・・「感じる」と「どちらかといえば感じる」の割合を小数点第2位で四捨五入した数値の合計

※「実感していない層」の割合・・・「感じない」と「どちらかといえば感じない」の割合を小数点第2位で四捨五入した数値の合計

問2 - (12) 三重県産の農林水産物を買いたいと感じますか。

三重県産の農林水産物を買いたいかどうかの実感については、「感じる」と「どちらかといえば感じる」を合計した「実感している層」の割合が86.5%で、「感じない」と「どちらかといえば感じない」を合計した「実感していない層」の割合(7.8%)より78.7ポイント高くなっています。

問2の16項目の中では、「実感している層」の割合、そのうち「感じる」の割合(48.0%)がともに最も高くなっています。

前回調査と比較すると「実感している層」の割合が0.9ポイント低くなっており、問2の16項目の中で唯一「実感している層」の割合が前回調査より低くなっています。

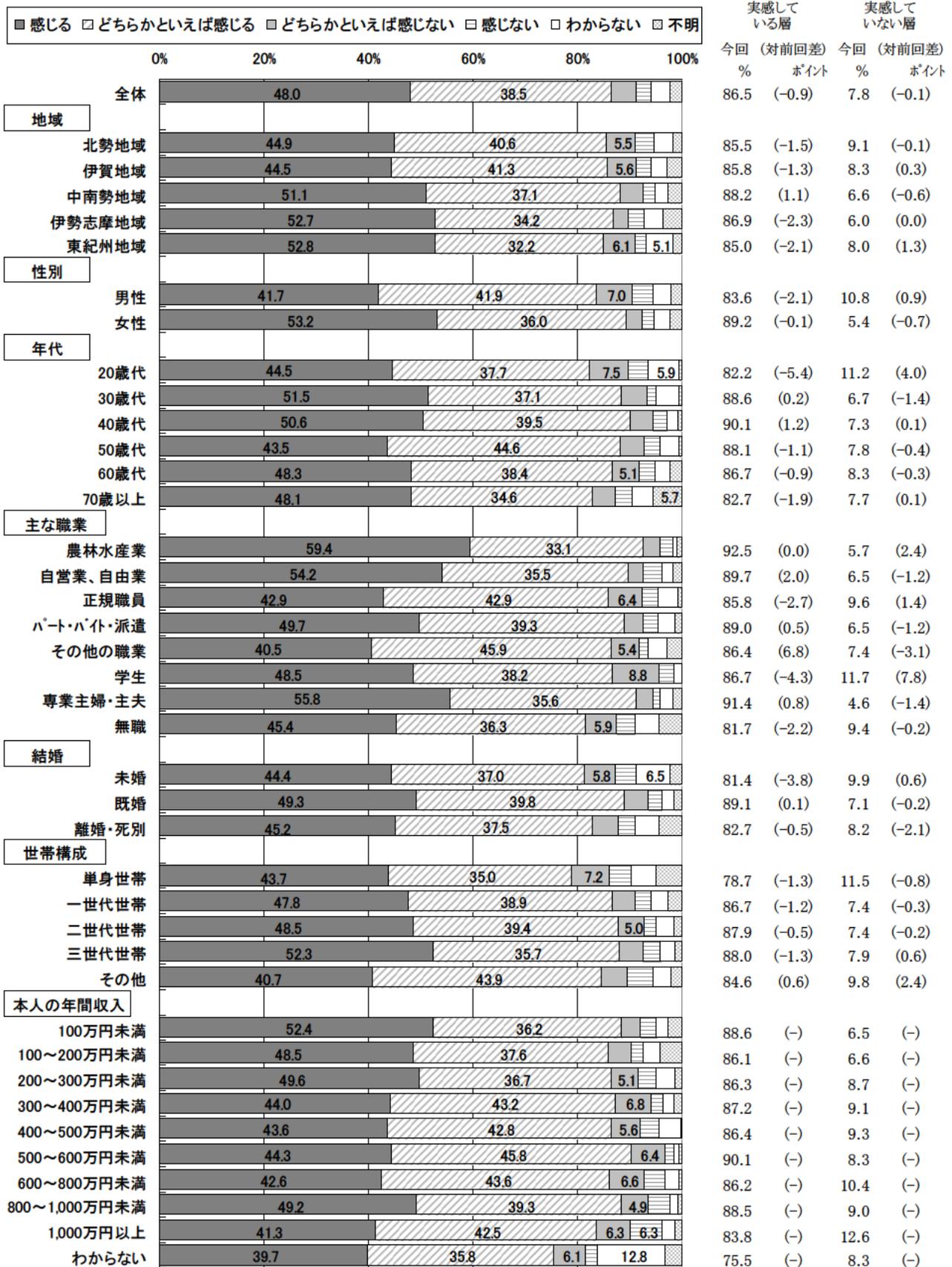
県全体との比較において特徴が見られる主な属性項目は次のとおりです。

- ・農林水産業の「感じる」の割合が59.4%で、県全体より11.4ポイント高くなっています。

属性項目間の比較において特徴が見られる主な属性は次のとおりです。

- ・性別では、女性は「感じる」の割合が53.2%で、男性より11.5ポイント高くなっています。
- ・主な職業別では、農林水産業や専業主婦・主夫の「感じる」の割合がそれぞれ59.4%、55.8%で他の職業に比べて高くなっている一方、正規職員は42.9%となっています。
- ・本人の年間収入別では、100万円未満の層は「感じる」の割合が52.4%と本人の年間収入別の層の中で最も高く、最も低い1,000万円以上の層(41.3%)に比べて11.1ポイント高くなっています。

図表 2-2-17 三重県産の農林水産物を買いたい



※「実感している層」の割合・・・「感じる」と「どちらかといえば感じる」の割合を小数点第2位で四捨五入した数値の合計

※「実感していない層」の割合・・・「感じない」と「どちらかといえば感じない」の割合を小数点第2位で四捨五入した数値の合計

問2 - (13) 県内の産業活動が活発であると感じますか。

県内の産業活動が活発であるかどうかの実感については、「感じない」と「どちらかといえば感じない」を合計した「実感していない層」の割合が52.2%で、「感じる」と「どちらかといえば感じる」を合計した「実感している層」の割合(28.6%)より23.6ポイント高くなっています。

前回調査と比較すると「実感している層」の割合が0.8ポイント高くなっています。

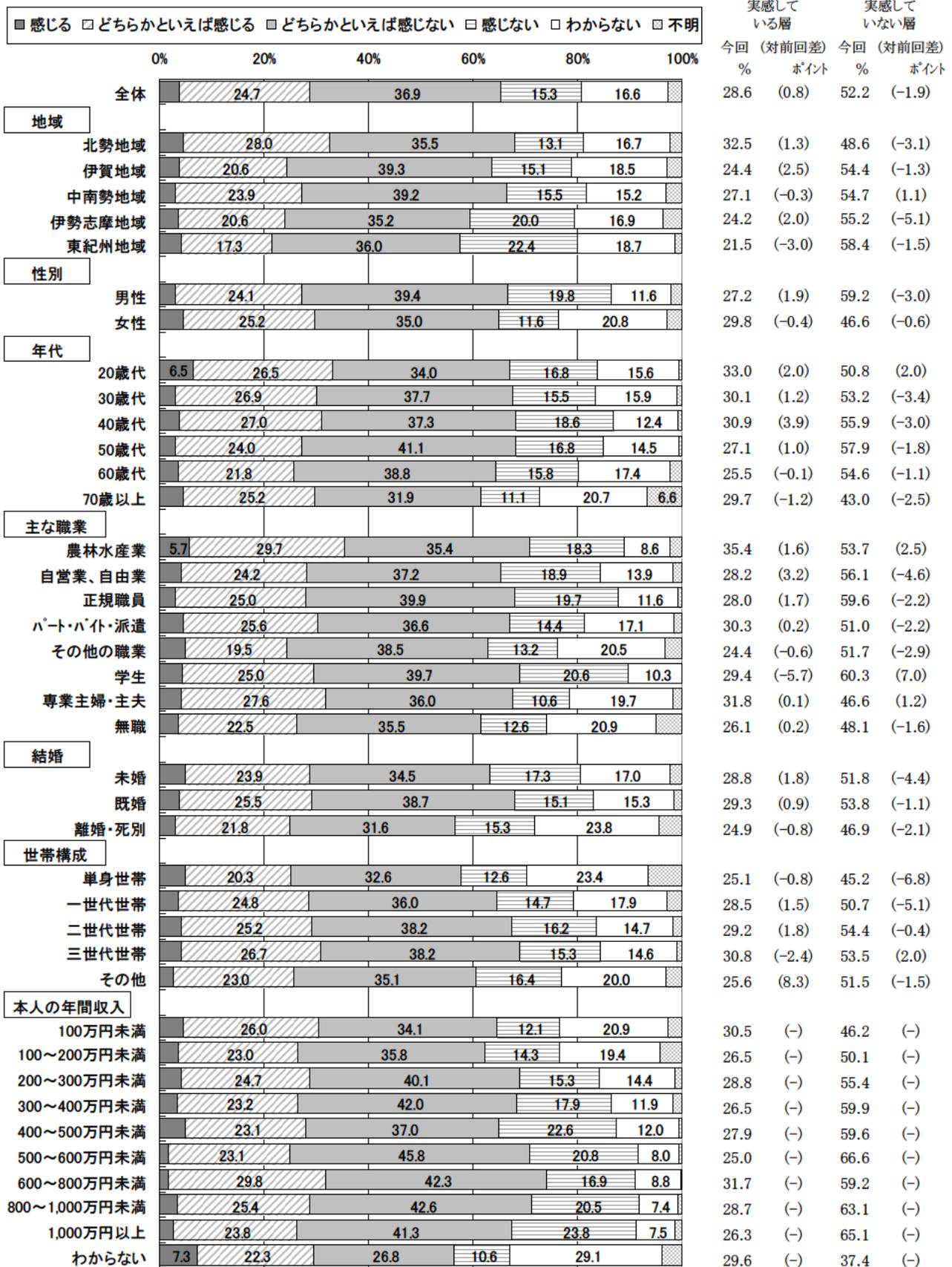
県全体との比較において特徴の見られる主な属性項目は次のとおりです。

- ・本人の年間収入額が500万から600万円未満の層の「実感していない層」の割合が66.6%で、県全体より14.4ポイント高くなっています。
- ・本人の年間収入額が800万円から1000万円未満の層の「実感していない層」の割合が63.1%で、県全体より10.9ポイント高くなっています。
- ・本人の年間収入額が1,000万円以上の層の「実感していない層」の割合が65.1%で、県全体より12.9ポイント高くなっています。
- ・学生の「実感していない層」の割合(60.3%)が前回調査より7.0ポイント高く、県全体における前回調査との差(-1.9ポイント)より8.9ポイント大きくなっています。

属性項目間の比較において特徴が見られる主な属性は次のとおりです。

- ・地域別では、東紀州地域は「実感している層」の割合が21.5%と地域の中で最も低く、最も高い北勢地域(32.5%)より11.0ポイント低くなっています。
- ・性別では、男性は「実感していない層」の割合が59.2%で、女性(46.6%)より12.6ポイント高くなっています。
- ・主な職業別では、学生と正規職員は「実感していない層」の割合がそれぞれ60.3%、59.6%と他の職業に比べ高くなっています。

図表 2-2-18 県内の産業活動が活発である



※「実感している層」の割合・・・「感じる」と「どちらかといえば感じる」の割合を小数点第2位で四捨五入した数値の合計

※「実感していない層」の割合・・・「感じない」と「どちらかといえば感じない」の割合を小数点第2位で四捨五入した数値の合計

問2 - (14) 働きたい人が仕事に就き、必要な収入を得ていると感じますか。

働きたい人が仕事に就き、必要な収入を得ているかどうかの実感については、「感じない」と「どちらかといえば感じない」を合計した「実感していない層」の割合が69.8%で、「感じる」と「どちらかといえば感じる」を合計した「実感している層」の割合(15.3%)より54.5ポイント高くなっています。

問2の16項目の中では、「実感していない層」の割合、そのうち「感じない」の割合(36.2%)ともに最も高くなっています。

前回調査と比較すると「実感している層」の割合が1.6ポイント高くなっています。

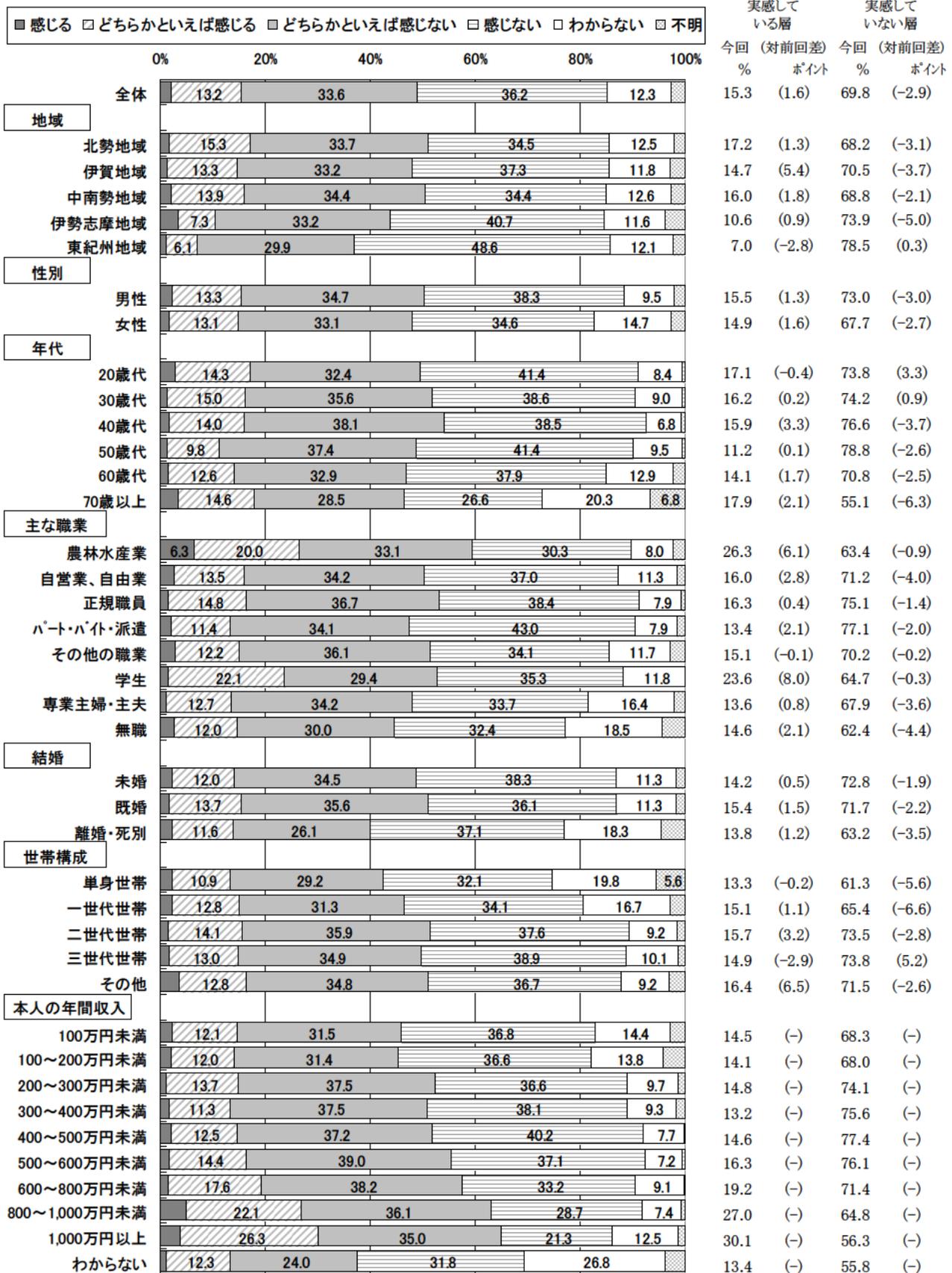
県全体との比較において特徴が見られる主な属性項目は次のとおりです。

- ・東紀州地域の「感じない」の割合が48.6%で、県全体より12.4ポイント高くなっています。
- ・農林水産業の「実感している層」の割合が26.3%で、県全体より11.0ポイント高くなっています。
- ・本人の年間収入額が800万円から1,000万円未満の層の「実感している層」の割合が27.0%で、県全体より11.7ポイント高くなっています。
- ・本人の年間収入額が1,000万円以上の層の「実感している層」の割合が30.1%で、県全体より14.8ポイント高くなっています。

属性項目間の比較において特徴が見られる主な属性は次のとおりです。

- ・地域別では、東紀州地域は「実感していない層」の割合が78.5%、そのうち「感じない」の割合が48.6%で、他の地域に比べて高くなっています。
- ・年代別では、70歳以上は「実感していない層」の割合が55.1%と年代の中で最も低くなっていますが、「わからない」の割合が20.3%となっています。
- ・主な職業別では、特にパート・アルバイト・派遣社員は「実感していない層」の割合が77.1%、そのうち「感じない」の割合が43.0%で、職業の中で最も高くなっています。
- ・本人の年間収入別では、300万円以上の層でみると、本人の年間収入額が高くなるほど「実感している層」の割合が高く、1,000万円以上の層は30.1%となっています。

図表 2-2-19 働きたい人が仕事に就き、必要な収入を得ている



※「実感している層」の割合・・・「感じる」と「どちらかといえば感じる」の割合を小数点第2位で四捨五入した数値の合計

※「実感していない層」の割合・・・「感じない」と「どちらかといえば感じない」の割合を小数点第2位で四捨五入した数値の合計

問2 - (15) 国内外に三重県の魅力が発信され、交流が進んでいると感じますか。

国内外に三重県の魅力が発信され、交流が進んでいるかどうかの実感については、「感じない」と「どちらかといえば感じない」を合計した「実感していない層」の割合が 58.6%で、「感じる」と「どちらかといえば感じる」を合計した「実感している層」の割合(21.0%)より 37.6 ポイント高くなっています。

前回調査と比較すると「実感している層」の割合が 3.7 ポイント高くなっており、問2の16項目の中では2番目に上昇幅が大きくなっています。一方、「実感していない層」の割合は 5.6 ポイント低下しています。

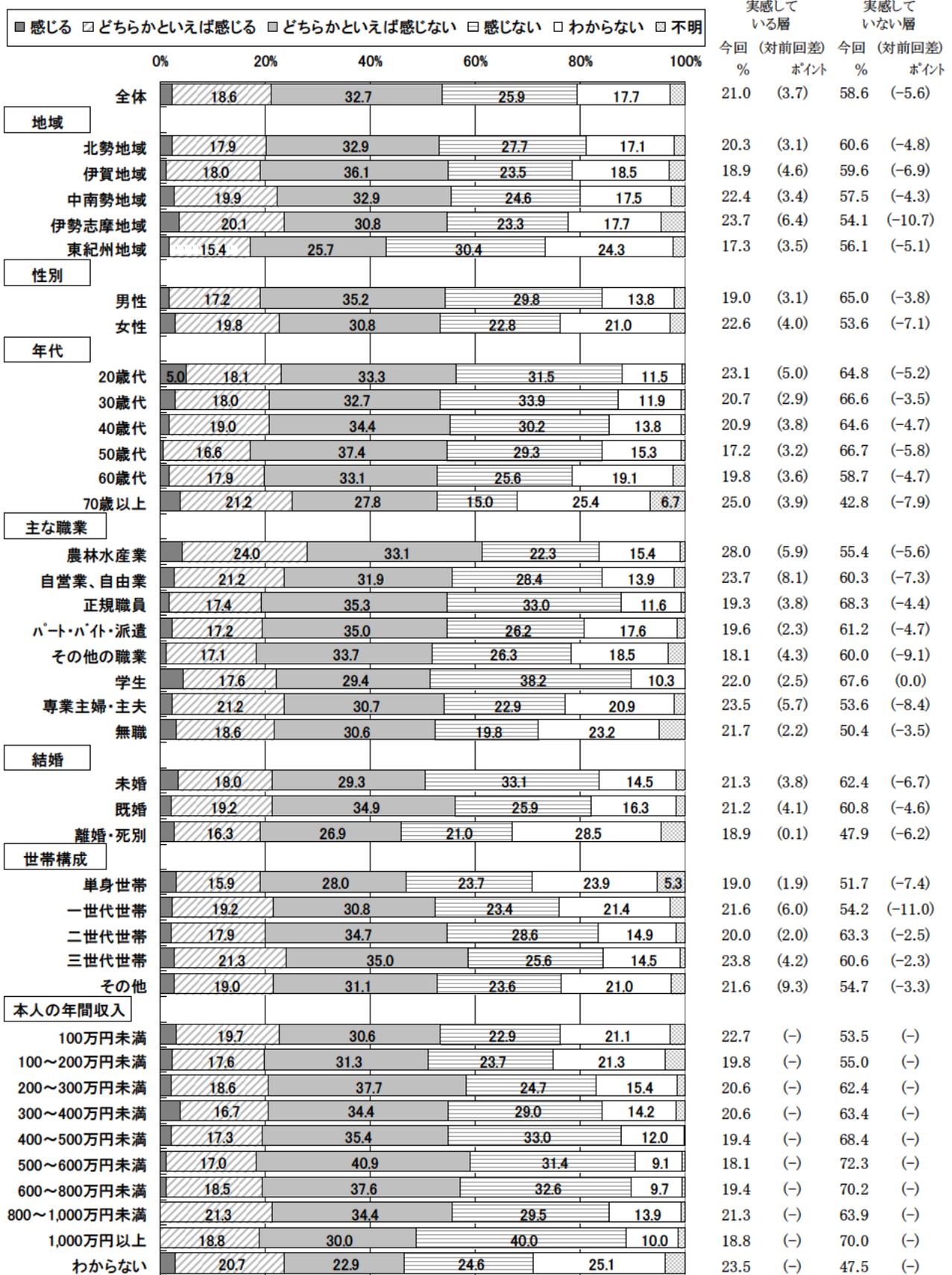
県全体との比較において特徴の見られる主な属性項目は次のとおりです。

- ・ 70歳以上の「実感していない層」の割合が 42.8%で、県全体より 15.8 ポイント低くなっています。
- ・ 離婚・死別の「実感していない層」の割合が 47.9%で、県全体より 10.7 ポイント低くなっています。
- ・ 学生の「感じない」の割合が 38.2%で、県全体より 12.3 ポイント高くなっています。
- ・ 本人の年間収入額が 500 万円から 600 万円未満の層の「実感していない層」の割合が 72.3%で、県全体より 13.7 ポイント高くなっています。
- ・ 本人の年間収入額が 600 万円から 800 万円未満の層の「実感していない層」の割合が 70.2%で、県全体より 11.6 ポイント高くなっています。
- ・ 本人の年間収入額が 1,000 万円以上の層の「実感していない層」の割合が 70.0%、そのうち「感じない」の割合が 40.0%で、県全体よりそれぞれ 11.4 ポイント、14.1 ポイント高くなっています。

属性項目間の比較において特徴が見られる主な属性は次のとおりです。

- ・ 地域別では、すべての地域で「実感していない層」の割合が高くなっていますが、特に伊勢志摩地域は「実感していない層」の割合が前回調査より 10.7 ポイント低い 54.1%で、地域の中で最も低くなっています
- ・ 年代別では、70歳以上は「実感していない層」の割合が 42.8%、そのうち「感じない」の割合が 15.0%と年代別の中で最も低くなっていますが、「わからない」の割合が 25.4%と高くなっています。
- ・ 主な職業別では、正規職員、学生は「実感していない層」の割合がそれぞれ 68.3%、67.6%と他の職業に比べて高く、そのうち「感じない」の割合も 3割以上となっています。
- ・ 本人の年間収入別では、600 万円未満の層でみると、年間収入額が高くなるほど「実感していない層」の割合が高く、100 万円未満の層が 53.5%となっているのに対し、500 万円から 600 万円未満の層は 72.3%となっています。

図表 2-2-20 国内外に三重県の魅力が発信され、交流が進んでいる



※「実感している層」の割合・・・「感じる」と「どちらかといえば感じる」の割合を小数点第2位で四捨五入した数値の合計

※「実感していない層」の割合・・・「感じない」と「どちらかといえば感じない」の割合を小数点第2位で四捨五入した数値の合計

問2 - (16) 道路や公共交通機関等が整っていると感じますか。

道路や公共交通機関等が整っているかどうかの実感については、「感じない」と「どちらかといえば感じない」を合計した「実感していない層」の割合が 52.4%で、「感じる」と「どちらかといえば感じる」を合計した「実感している層」の割合（40.8%）より 11.6 ポイント高くなっています。

前回調査と比較すると「実感している層」の割合が 3.3 ポイント高くなっています。

県全体との比較において特徴が見られる主な属性項目は次のとおりです。

- ・東紀州地域の「実感していない層」の割合が 64.9%、そのうち「感じない」の割合が 35.0%で、県全体よりそれぞれ 12.5 ポイント、10.7 ポイント高くなっています。

属性項目間の比較において特徴が見られる主な属性は次のとおりです。

- ・地域別では、東紀州地域の「実感している層」の割合が前回調査より 11.2 ポイント高くなったものの、地域の中で最も低くなっています。
- ・本人の年間収入別では、800 万円から 1,000 万円未満の層以外のすべての層で「実感していない層」の割合が「実感している層」の割合より高くなっています。一方、800 万円から 1,000 万円未満の層は「実感している層」の割合が 50.0%で、「実感していない層」の割合（48.4%）より高くなっています。

図表 2-2-21 道路や公共交通機関等が整っている

		■ 感じる □ どちらかといえば感じる □ どちらかといえば感じない □ 感じない □ わからない □ 不明					実感している層		実感していない層		
		0%	20%	40%	60%	80%	100%	今回 (%)	(対前回差) ポイント	今回 (%)	(対前回差) ポイント
地域	全体	5.9	34.9	28.1	24.3			40.8	(3.3)	52.4	(-3.5)
	北勢地域	6.3	37.4	27.6	23.3			43.7	(1.4)	50.9	(-1.4)
	伊賀地域		26.4	31.8	29.1	5.4		31.2	(5.7)	60.9	(-7.2)
	中南勢地域	5.9	36.7	28.3	22.1			42.6	(2.7)	50.4	(-1.7)
	伊勢志摩地域	5.6	32.9	26.5	25.7	5.7		38.5	(7.8)	52.2	(-8.9)
	東紀州地域	6.1	23.8	29.9	35.0			29.9	(11.2)	64.9	(-11.5)
性別	男性	6.3	35.8	28.3	24.8			42.1	(4.2)	53.1	(-4.4)
	女性	5.5	34.2	28.1	24.0	5.9		39.7	(2.5)	52.1	(-2.6)
年代	20歳代	6.9	36.4	28.3	24.3			43.3	(5.1)	52.6	(-3.7)
	30歳代	5.4	32.6	30.0	27.5			38.0	(0.5)	57.5	(-2.2)
	40歳代	5.2	32.8	30.4	27.3			38.0	(2.2)	57.7	(-1.3)
	50歳代		34.4	31.5	25.6			37.7	(1.9)	57.1	(-3.0)
	60歳代	5.5	36.3	28.1	24.2			41.8	(4.3)	52.3	(-4.1)
	70歳以上	8.7	36.3	23.5	19.5	6.5	5.4	45.0	(5.2)	43.0	(-4.9)
主な職業	農林水産業	8.6	35.4	30.9	22.9			44.0	(7.4)	53.8	(-2.5)
	自営業、自由業	5.5	40.5	24.2	24.6			46.0	(3.9)	48.8	(-3.4)
	正規職員		32.5	30.3	29.1			37.1	(-1.5)	59.4	(1.0)
	パート・バイト・派遣		33.6	29.5	25.1	5.3		38.5	(1.9)	54.6	(-3.7)
	その他の職業	6.3	31.7	32.2	22.4			38.0	(5.2)	54.6	(-4.7)
	学生	8.8	32.4	30.9	25.0			41.2	(2.2)	55.9	(-2.6)
	専業主婦・主夫	5.7	36.9	29.9	21.0			42.6	(8.1)	50.9	(-6.9)
	無職	7.2	36.7	25.5	21.3	5.6		43.9	(6.5)	46.8	(-5.3)
結婚	未婚	6.1	32.9	26.3	27.9	5.0		39.0	(0.0)	54.2	(-1.3)
	既婚	5.5	35.8	29.9	23.9			41.3	(3.7)	53.8	(-2.8)
	離婚・死別	5.9	35.2	22.6	23.6	8.6		41.1	(4.7)	46.2	(-7.0)
世帯構成	単身世帯	6.8	31.4	25.1	25.1	6.8		38.2	(3.3)	50.2	(-4.2)
	一世代世帯	6.5	35.6	27.6	22.5	5.6		42.1	(4.6)	50.1	(-6.0)
	二世帯世帯	5.5	34.3	29.4	25.7			39.8	(1.7)	55.1	(-1.3)
	三世帯世帯	5.6	37.3	29.0	23.7			42.9	(4.2)	52.7	(-2.4)
	その他	5.6	34.1	26.6	24.9	6.6		39.7	(15.0)	51.5	(-11.4)
本人の年間収入	100万円未満	6.5	33.6	27.5	23.5	6.6		40.1	(-)	51.0	(-)
	100~200万円未満	6.4	34.7	28.3	22.0	5.2		41.1	(-)	50.3	(-)
	200~300万円未満	5.9	39.1	28.1	23.3			45.0	(-)	51.4	(-)
	300~400万円未満	6.2	36.2	28.6	24.9			42.4	(-)	53.5	(-)
	400~500万円未満	6.1	29.3	30.1	31.6			35.4	(-)	61.7	(-)
	500~600万円未満		34.8	33.7	25.4			38.6	(-)	59.1	(-)
	600~800万円未満		34.8	32.0	29.5			36.7	(-)	61.5	(-)
	800~1,000万円未満	7.4	42.6	25.4	23.0			50.0	(-)	48.4	(-)
	1,000万円以上		40.0	25.0	27.5			42.5	(-)	52.5	(-)
	わからない	5.6	30.2	24.0	25.1	11.7		35.8	(-)	49.1	(-)

※「実感している層」の割合・・・「感じる」と「どちらかといえば感じる」の割合を小数点第2位で四捨五入した数値の合計

※「実感していない層」の割合・・・「感じない」と「どちらかといえば感じない」の割合を小数点第2位で四捨五入した数値の合計